MAXART

PX-7550S/PX-7500N/PX-7550/PX-9550S/PX-9500N/PX-9550

ユーザーズガイド

本書ではプリンタドライバやユーティリティの使い方を説明しています。また、さまざまな印刷の目的に応じた設定方法を詳しく説明しています。ご使用の目的に応じて、必要な章を参照してください。

NPD2948-00

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する画面は、特に指定がない限り PX-9550S の画面を使用しています。また、[現在の設定一覧] 画面を閉じた状態で説明しています。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

機種名について

本書および本製品付属の取扱説明書では、PX-7550S/PX-7500N/PX-7550/PX-9550S/PX-9500N/PX-9550 を併記しています。

ハガキの表記

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista™ Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2、v10.3、v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Apple の名称、Mac、Mac OS は Apple, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

1 プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

ここでは、本製品に添付されているプリンタソフトウェアの概要を説明します。

プリンタソフトウェアの構成

本製品には、プリンタを活用するために以下のソフトウェアが添付されています。これらのソフトウェアは添付のソフトウェア CD-ROM に収録されています。インストール方法は『セットアップガイド』をご覧ください。各ソフトウェアの詳細は各ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !3
- MAXART リモートパネル

プリンタドライバ

プリンタドライバは、アプリケーションソフトからの印刷指示に従ってプリンタに印刷を行わせるためのソフトウェアです。

プリンタドライバの主な機能は以下の通りです。

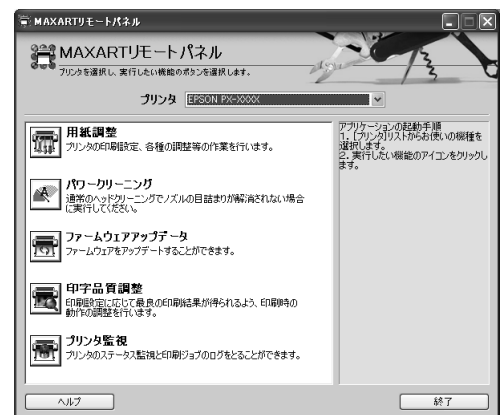
- アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンタで印刷できるデータに変換してプリンタに送ります。
- プリンタドライバの設定画面で用紙種類や用紙サイズなど印刷条件を設定します。

- プリンタドライバの［ユーティリティ］タブからノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行します。

EPSON プリンタウィンドウ !3

インク残量やプリンタのエラーなどを表示します。プリンタドライバの［ユーティリティ］タブから実行します。通常はプリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアの集まりです。MAXART リモートパネルを使用すると、強力なヘッドクリーニングや用紙ごとの詳細な印刷品質の調整が行えます。プリンタドライバの［ユーティリティ］タブから実行します。通常はプリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの設定

ここではプリンタドライバの設定画面の表示方法と設定項目の概要を説明します。

プリンタドライバの設定画面の表示

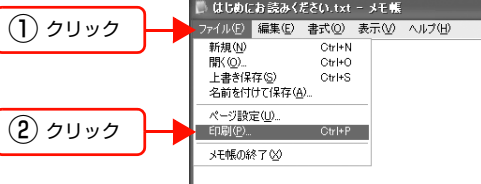
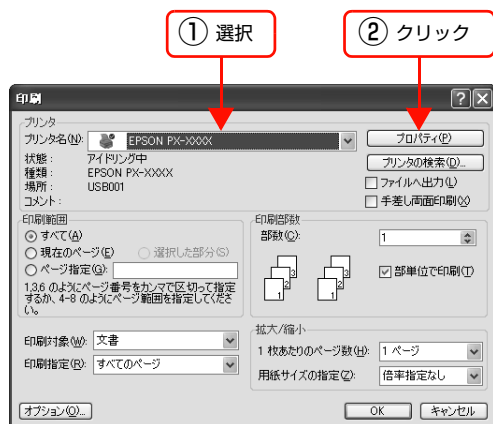
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 つの方法で表示できます。

- アプリケーションソフトから表示する方法
- プリンタアイコンから表示する方法

アプリケーションソフトから表示する

アプリケーションソフトから印刷条件を設定するときは、この方法で表示します。

通常はアプリケーションソフトの［印刷］メニューから表示させることができますが、アプリケーションソフトによって表示する手順が異なることもあります。

1 **アプリケーションソフトで、［ファイル］－［印刷］をクリックします。**

2 **プリンタを選択して、［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックします。**

3 **各種設定を行います。**

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

以上で終了です。

プリンタアイコンから表示する

ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、アプリケーションソフトに共通する設定をしたいときは、この方法で設定画面を表示します。

1 **［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。**

Windows XP

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

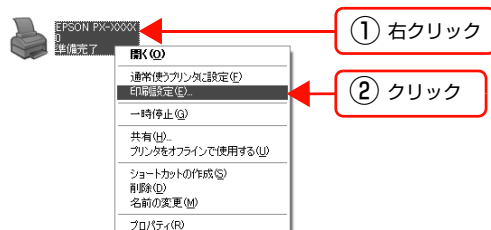
> **参考**
> Windows XP のコントロールパネルの表示を［クラシック表示］にしている場合は、［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタートアイコン］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。

Windows 2000

［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

2 **設定画面を表示します。**
本製品のプリンタアイコンを右クリックして［印刷設定］をクリックします。

3 **各種設定を行います。**

プリンタドライバの設定画面が表示されます。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

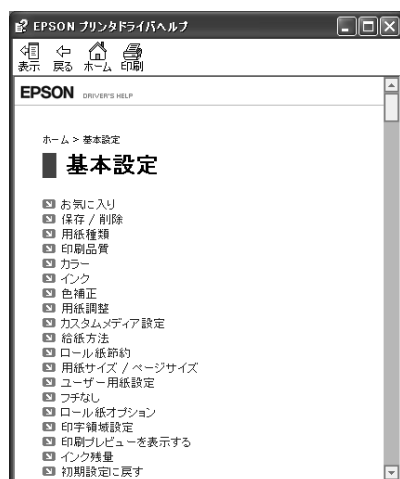
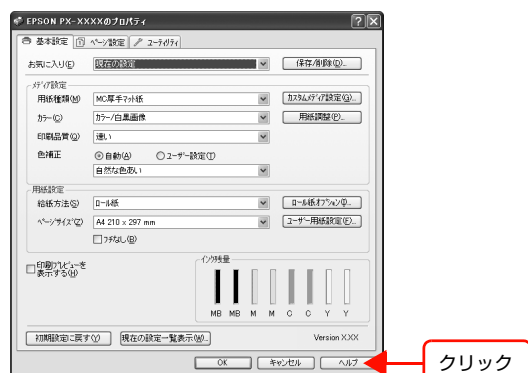
以上で終了です。

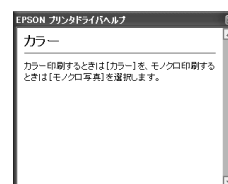
プリンタドライバの設定項目

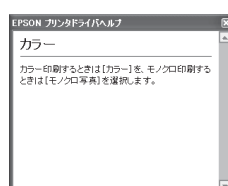
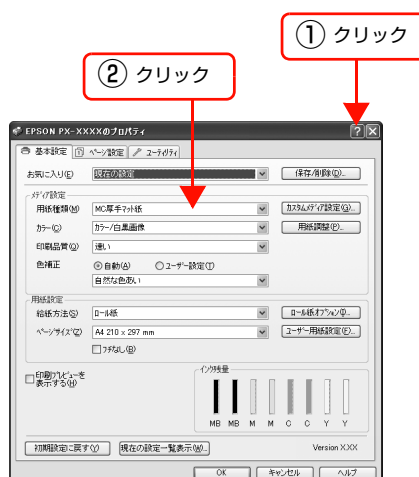
プリンタドライバの設定項目を変更することによって、いろいろな印刷を行うことができます。

プリンタドライバの各画面、各項目の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。

ヘルプの表示方法 1

プリンタドライバの設定画面の［ヘルプ］をクリックします。ヘルプが表示されます。この場合は、目次を使ってヘルプのすべてを見ることができます。

ヘルプの表示方法 2

知りたい項目上で右クリックして、［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプの表示方法 3

画面の右上にある ? アイコンをクリックして、マウスカーソルが ? に変わったら、知りたい項目をクリックします。

プリンタドライバを使った印刷の流れ

アプリケーションソフトからエプソン製プリンタドライバを使って印刷する手順は以下の通りです。

プリンタドライバの設定

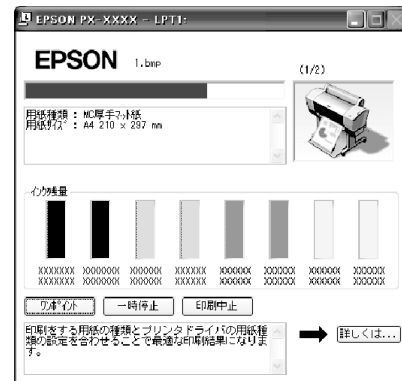
アプリケーションソフトで印刷する印刷データを作成します。

印刷する前には、プリンタドライバの設定画面を開き、用紙サイズや用紙種類などの設定を再確認します。

印刷状況の確認

印刷を開始すると、以下の画面で印刷状況を確認できます。

プログレスメータ

コンピュータでの印刷データの処理状況を確認したり、プリンタのインク残量などを確認したり、印刷の中止などが行えます。プログレスメータは EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていないと表示されません。

印刷キュー

印刷データの情報や印刷待ちデータなどを確認できるほか、印刷の中止などが行えます。印刷キューはタスクバーのプリンタアイコンをダブルクリックするか、プリンタドライバの［ユーティリティ］画面にある［印刷待ち状態表示］をクリックすると表示されます。この機能は Windows の OS としての機能です。

印刷の中止方法

ここでは、印刷を中止する方法を説明します。

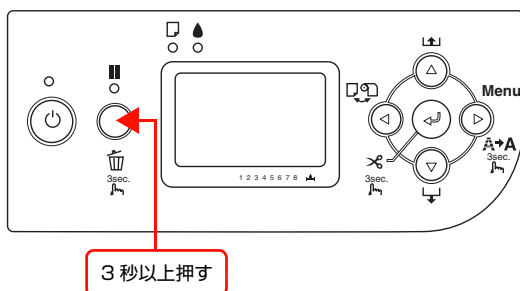
データの転送中はコンピュータ側で、プリンタがデータを受け取って印刷しているときはプリンタ側で印刷を中止できます。

プリンタ側で中止する

【ポーズ】ボタン（⏸）を３秒以上押します。

印刷が中止され、用紙が排出されます。排紙方法は印刷している用紙の種類によって異なります。

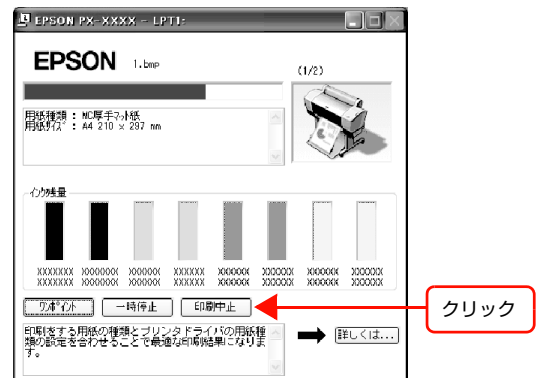
☞ 使い方ガイド（冊子）「印刷の中止」

参考

上記の操作では、コンピュータの印刷待ちデータを削除することはできません。印刷待ちデータを削除するときは次項の「コンピュータ側で中止する」をご覧ください。

コンピュータ側で中止する

印刷を中止する

1 **プログレスメータが表示されていることを確認します。**

2 **［印刷中止］をクリックします。**

参考

- プログレスメータは、EPSON プリンタウィンドウ!3がインストールされているときのみ表示されます。
- プログレスメータは、コンピュータからプリンタへの印刷データの送信状況を表示しています。印刷データの送信が完了すると表示は消えます。
- すでにプリンタに送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

印刷待ちのデータを削除する

コンピュータ内に蓄積されている印刷待ちのデータを削除する方法は、以下の通りです。

1 **タスクバーのプリンタアイコンをダブルクリックして印刷キューを表示します。**

2　**［プリンタ］をクリックして、［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。**

特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックしてください。

参考

- それぞれの印刷データは、コンピュータからプリンタへの印刷データの送信状況を表示しています。印刷データの送信が完了すると表示は消えます。
- すでにプリンタに送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

以上で、印刷の中止方法の説明は完了です。

印刷中に問題が発生したとき

問題が発生したり、インクカートリッジ交換が必要になると、EPSON プリンタウィンドウ !3 にエラーメッセージが表示されます。

［対処方法］をクリックすると、対処方法が表示されます。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバの［ユーティリティ］タブから、以下のメンテナンス機能を実行することができます。

①ノズルチェック

ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルが目詰まりしている場合は、ヘッドクリーニングを実行します。

②ヘッドクリーニング

プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

③ギャップ調整

印刷時のギャップ（ずれ）を調整します。本製品は高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼけたりしたような印刷結果になることがあります。このようなずれを修正します。

④EPSON プリンタウィンドウ !3

インク残量やプリンタからのエラー情報などを表示します。EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると起動できます。

⑤モニタの設定

プリンタにどのようなエラーが発生したときに画面にエラー表示するかを設定したり、表示するアイコンを選択できます。

⑥印刷待ち状態表示

印刷待ちデータの一覧（印刷キュー）画面を表示します。印刷待ちデータの情報や印刷待ちデータの削除、再印刷などが実行できます。

⑦ドライバの動作設定

プリンタドライバの動作に関する各種機能（印刷の速度や進捗表示など）を設定できます。

⑧メニューの整理

［お気に入り］、［用紙種類］、［ページ（用紙）サイズ］の表示項目を整理できます。

⑨設定の書き出し / 取り込み

プリンタドライバのすべての設定をファイルに保存したり、ファイルから取り込みます。複数のコンピュータに同一のプリンタドライバの環境を作ることができるので、同じ設定で印刷したいときに便利です。

⑩MAXART リモートパネル

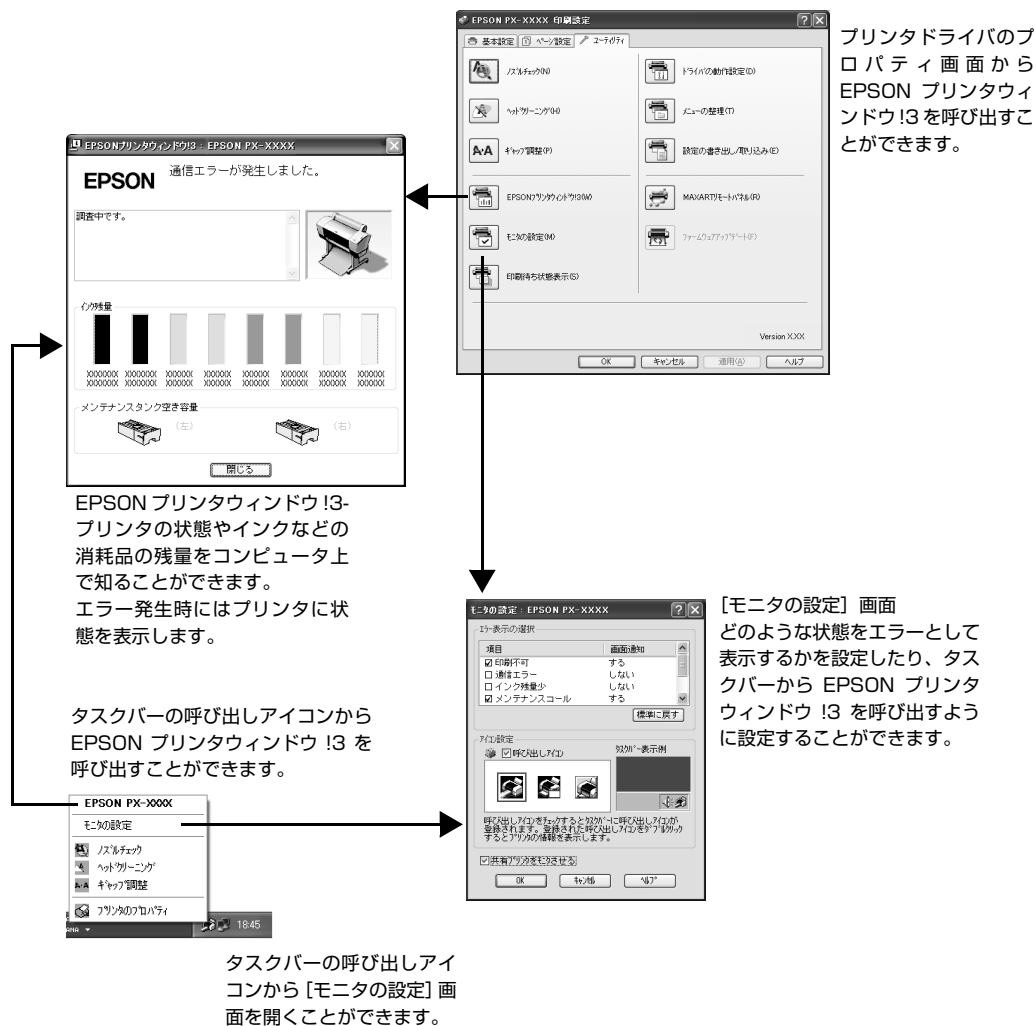
プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアを起動します。MAXART リモートパネルがインストールされていると起動できます。

⑪ファームウェアアップデート

ファームウェアを最新の状態に更新します。あらかじめエプソンのホームページから最新のファームウェアファイルをダウンロードしておく必要があります。

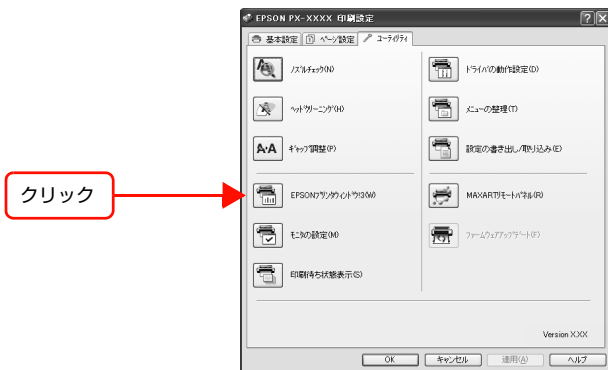
MAXART リモートパネルがインストールされていると起動できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3

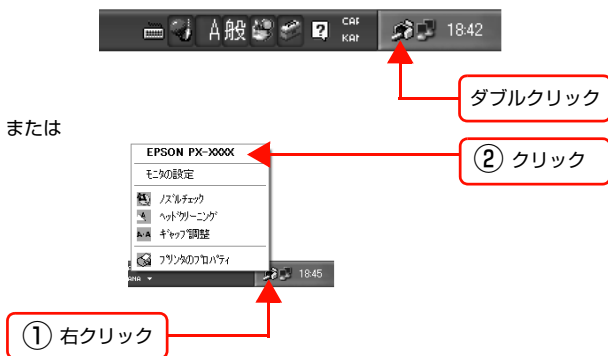
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示します。対処方法を表示させることもできます。また、プリンタドライバの設定画面や Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の起動方法

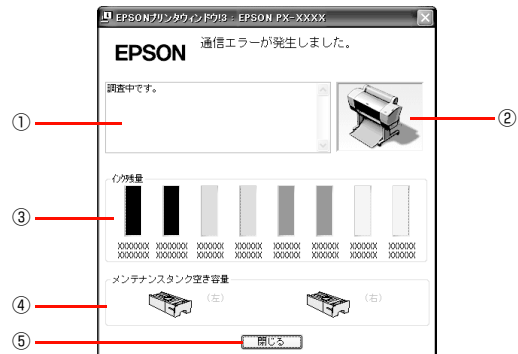
EPSON プリンタウィンドウ !3 は 2 通りの方法で起動できます。このウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

［方法 1］

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］ボタンをクリックします。

［方法 2］

［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューからプリンタ名をクリックします。

☞ 本書 16 ページ「［モニタの設定］画面」

EPSON プリンタウィンドウ !3 の見方

EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

① メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生するとその状況や対処方法を表示します。

② プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

③ インク残量

インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。

④ メンテナンスタンク空き容量

メンテナンスタンク空き容量の割合（%）を表示します。

⑤［閉じる］

ウィンドウを閉じます。

インクが少なくなり印刷できない状況になったり、何らかの問題が起こると、EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

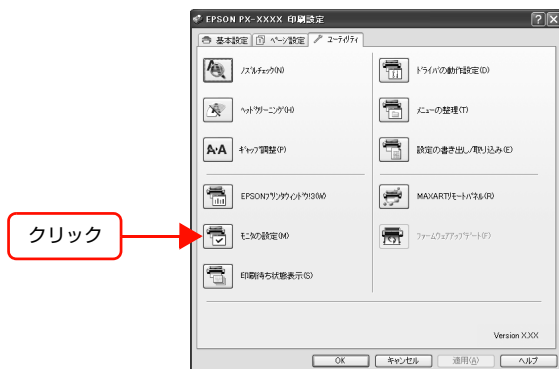
☞ 本書 12 ページ「印刷中に問題が発生したとき」

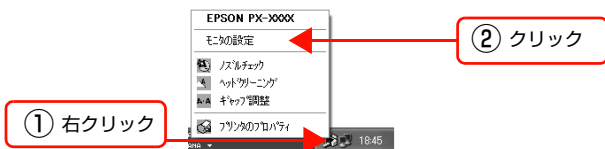
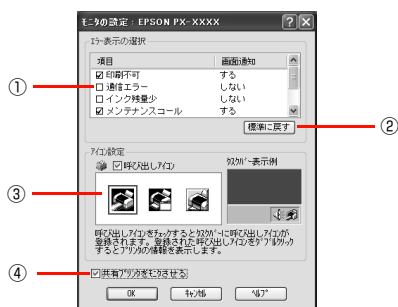
モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するかを設定したり、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

［モニタの設定］画面を開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］をクリックします。

［方法 2］

［方法 1］で開いた［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択すると、WindowsのタスクバーにEPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］画面

① エラー表示の選択

プリンタがどのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。通知が必要な項目をチェックします。

② ［標準に戻す］

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

③ アイコン設定

［呼び出しアイコン］をチェックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンがタスクバーに表示されます。表示するアイコンは、プリンタに合わせて選択します。

タスクバーに表示されたアイコンを右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］画面を開くことができます。

④ 共有プリンタをモニタさせる

チェックすると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 取扱説明書 ネットワーク編（電子マニュアル）

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

ノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングは、プリンタ本体だけでも行えますが、コンピュータから実行することもできます。ノズルチェックとヘッドクリーニングの実行方法は以下をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「プリントヘッドの調整」

ギャップ調整

ギャップ調整機能は、印刷時のギャップ（ずれ）を調整します。

ギャップ調整は、プリンタの操作パネルからも実行できますが、より精度の高い調整を行うためにコンピュータから実行することをお勧めします。MAXART リモートパネルからギャップ調整を行うと、より厳密に調整できます。

ギャップ調整の実行方法は以下をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「プリントヘッドのギャップ調整」

印刷速度より印刷品質を重視するときは「双方向印刷」ではなく「単方向印刷」をお勧めします。
「双方向印刷」をする / しないの設定は、プリンタドライバの［基本設定］画面にある［印刷品質］の［詳細設定］（Windows）/［印刷設定］画面の［印刷品質］（Mac OS X）で行います。

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスが行えます。目的に応じてメニューを選択してください。

詳細は［ヘルプ］をクリックしてください。

用紙調整

用紙調整には以下のメニューがあります。

自動調整
印刷ギャップ調整 / ノズルチェック / クリーニングを自動で行うメニューがあります。

ユーザー用紙登録
使用する用紙に合わせて印刷関連の設定を調整し、その設定をプリンタに登録できます。

ユーザー用紙切替
ユーザー用紙登録で行った設定を呼び出し、プリンタで使用するユーザー用紙設定を切り替えます。

日時設定
プリンタ内部の日時を設定します。

プリンタ情報
プリンタで保存している情報を表示したり、ステータスシートの印刷ができます。

ギャップ調整＜双方向印刷＞
ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、双方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

ギャップ調整＜単方向印刷＞
ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、単方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

パワークリーニング

通常より強力なヘッドクリーニングをします。

プリンタドライバや、プリンタの操作パネルなどから行う通常のヘッドクリーニングでノズルの目詰まりが解消しないときにのみ実行します。

パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

ファームウェアアップデータ

プリンタ本体を制御しているプログラムであるファームウェアファイルをプリンタに送り、プリンタのファームウェアを最新の状態に（アップデート）します。

印字品質調整

用紙種類、給紙装置、印刷品質の印刷設定に応じて、最良の印刷結果が得られるように印刷時の動作を調整し、プリンタに登録できます。ここでは、用紙送り量の調整とマイクロウィーブの調整ができます。

プリンタ監視

プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示できます。

また、プリントジョブ情報の履歴や、プリンタの保守情報（発生したサービスコール）の履歴を一覧表示することもできます。

プリンタソフトウェアの削除

プリンタソフトウェアの削除方法は以下の通りです。

- Windows XP/Vista で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。なお、Windows Vista で削除するときに、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除します。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、単独でインストールすることができません。

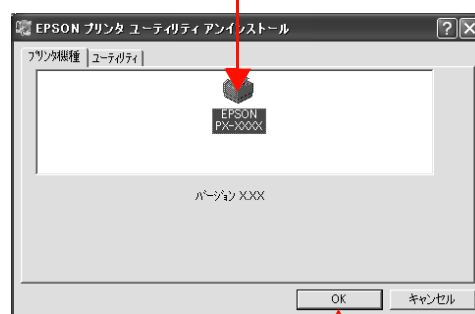
1 **プリンタの電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。**

2 **［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］を実行します。**

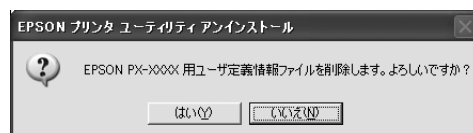
Windows Vista の場合は、［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックします。

3 **［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］をクリックします。**

Windows 2000 は［追加と削除］です。

4 **本製品のアイコンをクリックして、［OK］をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従って操作を続けます。削除を確認するメッセージが表示されたら［はい］または［OK］をクリックします。**

ユーザー定義情報ファイルについて

プリンタドライバを削除すると以下の画面が表示されることがあります。
ユーザー定義情報ファイルには、ユーザー定義サイズの用紙など、ご自分で登録されたデータが保存されています。このファイルを削除せずに残しておくと、プリンタドライバを再インストールした際に、登録されたデータをそのまま使用することができます。プリンタドライバを再インストールする予定があるときは［いいえ］をクリックしてください。削除したい場合は、［はい］をクリックしてください。

以上で終了です。

プリンタドライバを再インストールする際は、コンピュータを再起動してください。

MAXART リモートパネルの削除

MAXART リモートパネルは、一般のアプリケーションソフトと同様に［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］（または［アプリケーションソフトの追加と削除］）で削除できます。詳細は、MAXART リモートパネルのオンラインヘルプをご覧ください。

2 プリンタソフトウェアの使い方(Mac OS X)

ここでは、本製品に添付されているプリンタソフトウェアの概要を説明します。

プリンタソフトウェアの構成

本製品には、プリンタを活用するために以下のソフトウェアが添付されています。これらのソフトウェアはソフトウェアCD-ROMに収録されています。インストール方法は『セットアップガイド』をご覧ください。各ソフトウェアの詳細は各ソフトウェアに添付のオンラインヘルプをご覧ください。

- プリンタドライバ
- EPSON Printer Utility2
- EPSON プリンタウィンドウ
- MAXART リモートパネル

プリンタドライバ

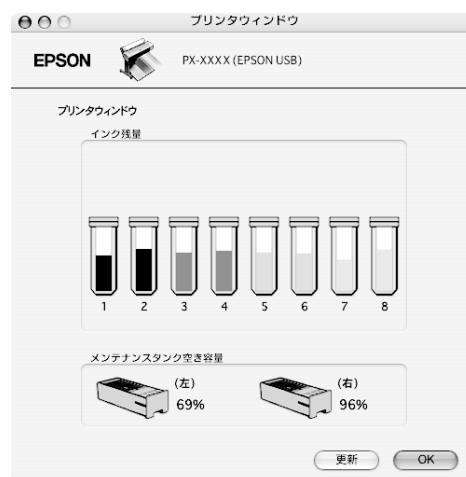
プリンタドライバは、アプリケーションソフトからの印刷指示に従ってプリンタに印刷を行わせるためのソフトウェアです。主な機能は以下の通りです。

- アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンタで印刷できるデータに変換してプリンタに送ります。
- プリンタドライバの設定画面で用紙種類や用紙サイズなど印刷条件を設定します。

EPSON Printer Utility2

タブからノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行します。［EPSON Printer Utility2］は、Mac OS X のハードディスクの［アプリケーション］フォルダに登録されています。

EPSON プリンタウィンドウ

インク残量やプリンタのエラーなどを表示します。［EPSON Printer Utility2］から実行します。

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアの集まりです。MAXART リモートパネルを使用すると、強力なヘッドクリーニングや用紙ごとの詳細な印刷品質の調整が行えます。［EPSON Printer Utility2］から実行します。通常はプリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの設定

ここではプリンタドライバの設定画面の表示方法と設定項目の概要を説明します。

プリンタドライバの設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面には、以下の２種類があり、それぞれ表示手順が異なります。

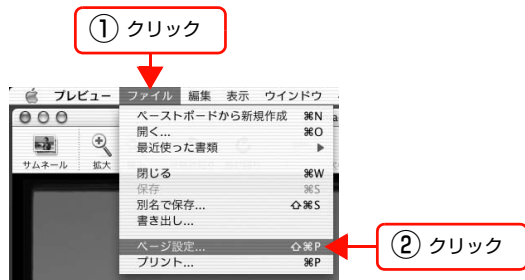
- **［用紙設定］画面**
  用紙に関する設定（用紙種類や用紙サイズなど）を行う画面です。

- **［印刷］画面**
  印刷品質に関する設定を行う画面です。

アプリケーションソフトによって画面を表示する手順が異なることもあります。この場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

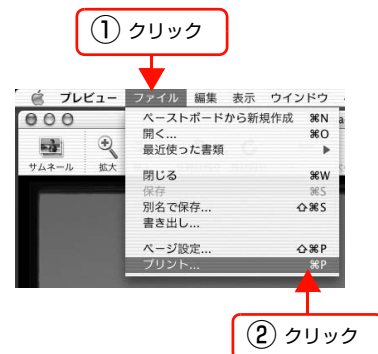
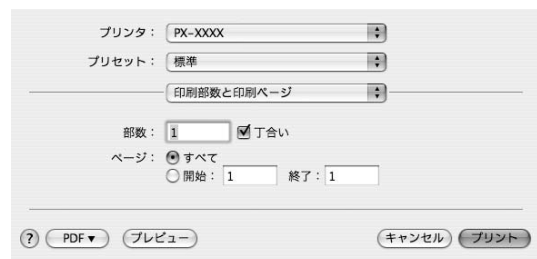
［用紙設定］画面を表示する

［用紙設定］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［ページ設定］または［用紙設定］をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。
［用紙サイズ］の項目では、用紙サイズ、フチなし方法、給紙方法、印刷領域を選択できます。

［印刷］画面を表示する

［印刷］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

プリンタドライバの設定項目

プリンタドライバの設定項目を変更することによって、いろいろな印刷を行うことできます。
プリンタドライバの各画面、各項目の詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプをご覧ください。

ヘルプの表示方法

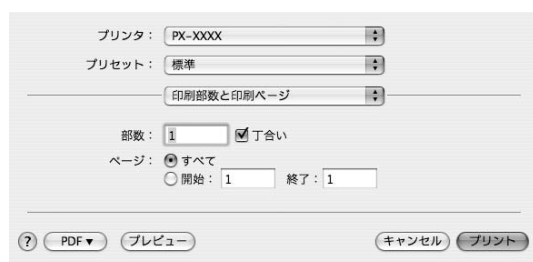
プリンタドライバの設定画面の ? をクリックします。ヘルプが表示されます。

プリンタドライバを使った印刷の流れ

アプリケーションソフトからエプソン製プリンタドライバを使って印刷する手順は以下の通りです。

プリンタドライバの設定

アプリケーションソフトで印刷する印刷データを作成します。

印刷する前には、プリンタドライバの設定画面を開き、用紙サイズや用紙種類などの設定を再確認します。

印刷状況の確認

印刷が開始されると［Dock］内に［プリンタ］アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると印刷状況が表示されます。

1 ［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。

2 印刷状況が表示されます。印刷データの情報や印刷待ちデータなどを確認できるほか、印刷の中止などが行えます。

① ［削除］
印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除します。

② ［保留］
印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にします。

③ ［再開］
保留状態を解除します。保留状態になっている印刷データを選択して、ボタンをクリックします。

④ ［ジョブを停止］
印刷の停止と解除（開始）を選択します。［ジョブを停止］を選択すると、すべての印刷を停止します。印刷データは、Mac OS X を終了してもすべて保持されます。この場合［ジョブを開始］を選択すると、印刷を開始します。

⑤ 状態表示部
印刷中のジョブの名称や進行状況などを表示します。

⑥ スプールファイルリスト
印刷待ちのジョブを表示します。

印刷の中止方法

ここでは、印刷を中止する方法を説明します。

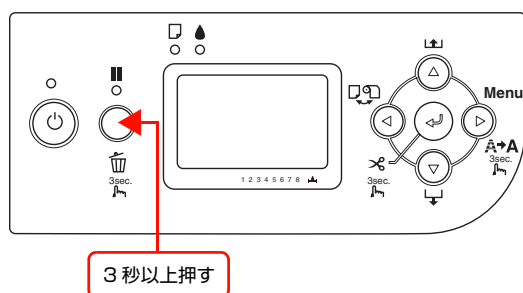
データの転送中はコンピュータ側で、プリンタデータを受け取って印刷しているときはプリンタ側で印刷を中止できます。

プリンタ側で中止する

【ポーズ】ボタン（II）を３秒以上押します。

印刷が中止され、用紙が排出されます。排紙方法は印刷している用紙の種類によって異なります。

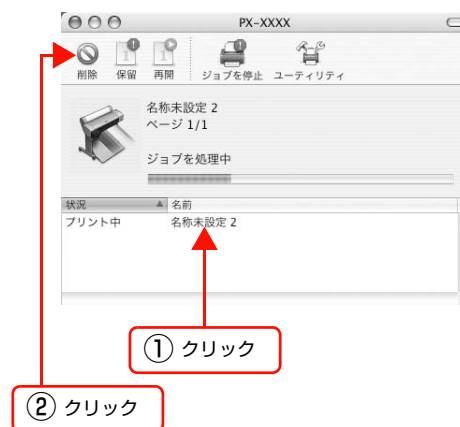
☞ 使い方ガイド（冊子）「印刷の中止」

参考

上記の操作では、コンピュータの印刷待ちデータを削除することはできません。印刷待ちデータを削除するときは次項の「コンピュータから中止する」をご覧ください。

コンピュータ側で中止する

1 ［Dock］内の［プリンタ］アイコンをクリックします。

2 **中止したい印刷データをクリックして、［削除］をクリックします。**

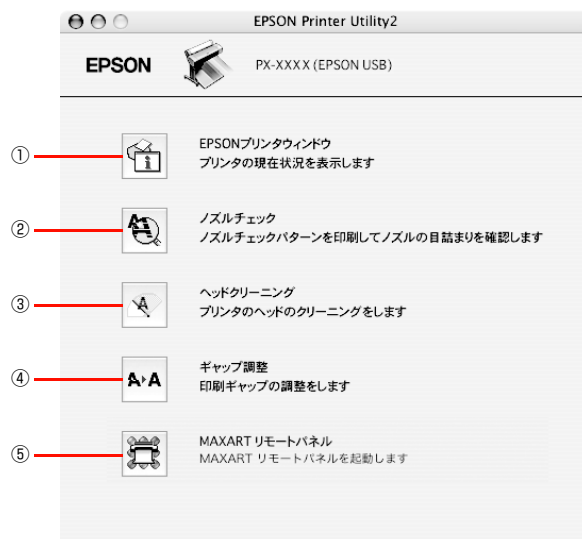
これで印刷が中止されます。

参考

- 印刷待ちのデータを削除したい場合も、上記手順と同じように操作してください。
- すでにプリンタ側に送られてしまった印刷データは削除できません。送信済みの印刷データはプリンタ側で印刷を中止してください。

印刷中に問題が発生したとき

印刷中にエラーが発生した場合はエラーメッセージが表示されます。詳細なエラー対処方法がわからない場合は印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。

ユーティリティの使い方

［EPSON Printer Utility2］から、以下のメンテナンス機能を実行することができます。

①EPSON プリンタウィンドウ！

インク残量やプリンタからのエラー情報などを表示します。EPSON プリンタウィンドウ！がインストールされていると起動できます。

②ノズルチェック

ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルが目詰まりしている場合は、ヘッドクリーニングを実行します。

③ヘッドクリーニング

プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを解消します。

④ギャップ調整

印刷時のギャップ（ずれ）を調整します。本製品は高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼけたりしたような印刷結果になることがあります。このようなずれを修正します。

⑤MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアを起動します。MAXART リモートパネルがインストールされていると起動できます。

EPSON プリンタウィンドウ

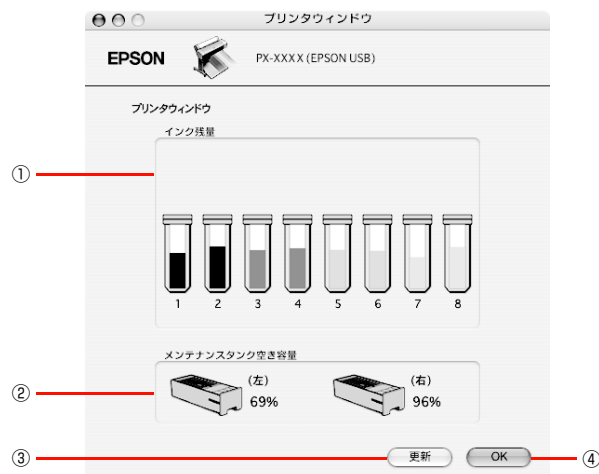
EPSON プリンタウィンドウは、プリンタの状態を確認して､エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

EPSON プリンタウィンドウの起動方法

EPSON プリンタウィンドウの起動は、以下の手順で行います。

［EPSON Printer Utility2］画面を開いて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウの見方

①インク残量
インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。

②メンテナンスタンク空き容量
メンテナンスタンク空き容量の割合（%）を表示します。

③［更新］
最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。

④［OK］
EPSON プリンタウィンドウを終了します。

参考

印刷中にエラーが発生した場合はエラーメッセージが表示されます。詳細なエラー対処方法がわからない場合は印刷を中止して、EPSON プリンタウィンドウを起動して確認してください。

☞ 本書 26 ページ「印刷中に問題が発生したとき」

ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり変な色で印刷されたりします。ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

ノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングは、プリンタ本体だけでも行えますが、コンピュータから実行することもできます。ノズルチェックとヘッドクリーニングの実行方法は以下をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「プリントヘッドの調整」

ギャップ調整

ギャップ調整機能は、印刷時のギャップ（ずれ）を調整します。

ギャップ調整は、プリンタの操作パネルからも実行できますが、より精度の高い調整を行うためにコンピュータから実行することをお勧めします。MAXART リモートパネルからギャップ調整を行うと、より厳密に調整できます。

ギャップ調整の実行方法は以下をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「プリントヘッドのギャップ調整」

印刷速度より印刷品質を重視するときは「双方向印刷」ではなく「単方向印刷」をお勧めします。
「双方向印刷」をする / しないの設定は、プリンタドライバの［基本設定］画面にある［印刷品質］の［詳細設定］（Windows）/［印刷設定］画面の［印刷品質］（Mac OS X）で行います。

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスが行えます。目的に応じてメニューを選択してください。

詳細は［ヘルプ］をクリックしてください。

用紙調整

用紙調整には以下のメニューがあります。

自動調整
印刷ギャップ調整 / ノズルチェック / クリーニングを自動で行うメニューがあります。

ユーザー用紙登録
使用する用紙に合わせて印刷関連の設定を調整し、その設定をプリンタに登録できます。

ユーザー用紙切替
ユーザー用紙登録で行った設定を呼び出し、プリンタで使用するユーザー用紙設定を切り替えます。

日時設定
プリンタ内部の日時を設定します。

プリンタ情報
プリンタで保存している情報を表示したり、ステータスシートの印刷ができます。

ギャップ調整＜双方向印刷＞
ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、双方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

ギャップ調整＜単方向印刷＞
ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、単方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

パワークリーニング

通常より強力なヘッドクリーニングをします。

プリンタドライバや、プリンタの操作パネルなどから行う通常のヘッドクリーニングで、ノズルの目詰まりが解消しないときにのみ実行します。

パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

ファームウェアアップデータ

プリンタ本体を制御しているプログラムであるファームウェアファイルをプリンタに送り、プリンタのファームウェアを最新の状態に（アップデート）します。

用紙カウンタ設定

プリンタにセットしている用紙の残量をカウントし、残りの長さや枚数が指定した数値より少なくなると、警告メッセージを表示するように設定ができます。

用紙情報登録ツール

印刷時に表示される［プリント］画面の［プリセット（ソフトウェアなどに登録されている設定値）］の設定をエクスポート（書き出し）またはインポート（取り込み）できます。次回同じ設定で印刷するときに、設定を簡単に呼び出せます。

印字品質調整

用紙種類、給紙装置、印刷品質の印刷設定に応じて、最良の印刷結果が得られるように印刷時の動作を調整し、プリンタに登録できます。ここでは、用紙送り量の調整とマイクロウィーブの調整ができます。

プリンタ監視

プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示できます。

また、プリントジョブ情報の履歴や、プリンタの保守情報（発生したサービスコール）の履歴を一覧表示することもできます。

プリンタソフトウェアの削除

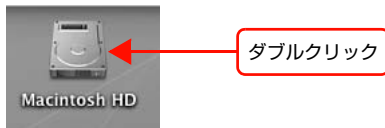
プリンタソフトウェアの削除方法は以下の通りです。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバと EPSON Printer Utility2 を削除します。

1 プリンタの電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。

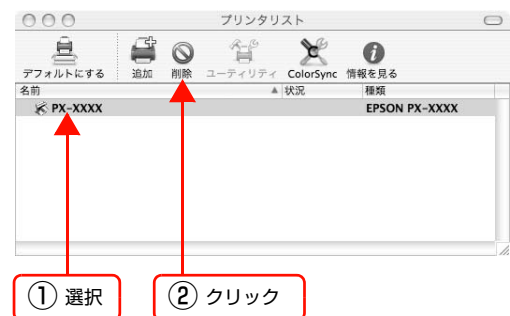
2 起動しているすべてのアプリケーションソフトを終了します。

3 ハードディスクアイコンをダブルクリックします。

4 ［アプリケーション］フォルダをダブルクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

5 ［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

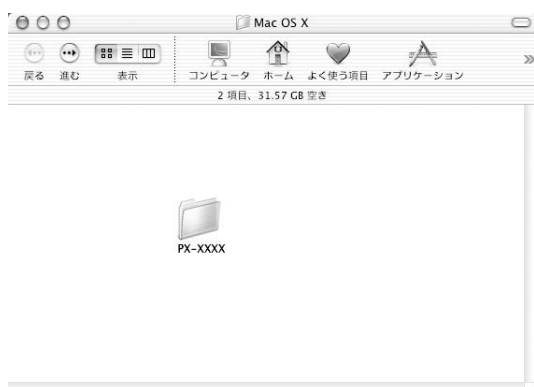
参考

Mac OS X v10.2 では、［プリンタ設定ユーティリティ］が［プリントセンター］になります。

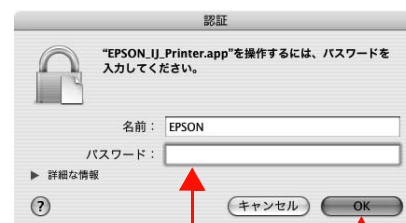
6 プリンタを選択して、［削除］をクリックします。

［削除］をクリックしたら、画面を閉じます。

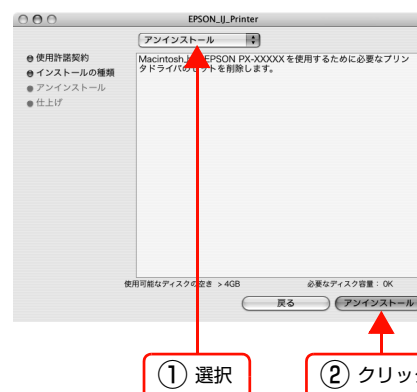
7 ソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

8 ［プリンタドライバ］フォルダをダブルクリックします。

9 本製品のフォルダをダブルクリックします。

10 本製品のアイコンをダブルクリックします。

11 以下の画面が表示されたら、Mac OS X にログインしているユーザーのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールには管理者の権限が必要です。
必ず管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

12 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［続ける］をクリックし、［同意します］をクリックします。

13 リストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

14 ［続ける］をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

15 アンインストールが終了したら、［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

MAXART リモートパネルの削除

MAXART リモートパネルは、MAXART リモートパネルのフォルダを削除することで削除できます。詳細は、MAXART リモートパネルのオンラインヘルプをご覧ください。

3 目的別印刷

ここでは目的に応じた印刷の方法を説明します。

色合いを調整して印刷

本製品のプリンタドライバには、印刷データに対してカラーマネジメントを行うための設定と、プリンタドライバのみで、よりきれいな印刷を行う色調整が用意されています。いずれの場合も、印刷用の元データを加工せずに色調整を行い印刷します。

カラーマネジメント

- ドライバ ICM 補正によるカラーマネジメント
- ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネジメント
- アプリケーションによるカラーマネジメント

プリンタドライバによる色調整

- プリンタドライバによる色調整
- オートフォトファイン !EX による自動調整（Windows のみ）

カラーマネジメントについて

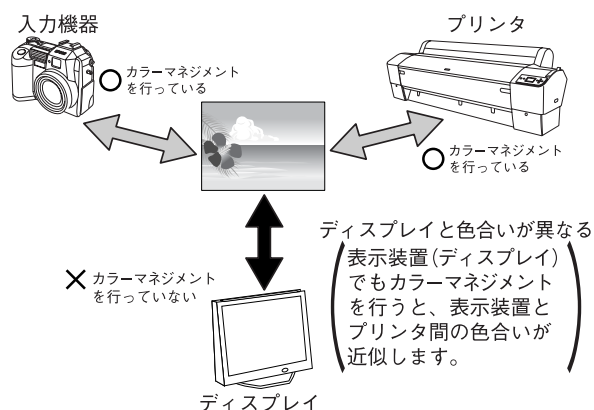
カラーマネジメントシステム（CMS）

同じ画像データでも、原画、ディスプレイでの表示、プリンタの印刷結果で、色合いが異なって見えることがあります。これは、スキャナやディスプレイ、プリンタといった入出力機器の特性の違いによって生じます。この入出力機器間の特性の違いを補正し、色を合わせるのがカラーマネジメントシステムです。Windows や Mac OS などの OS にはカラーマネジメントシステムが標準搭載されています。また、画像処理用のアプリケーションソフトも標準搭載しているものがあります。

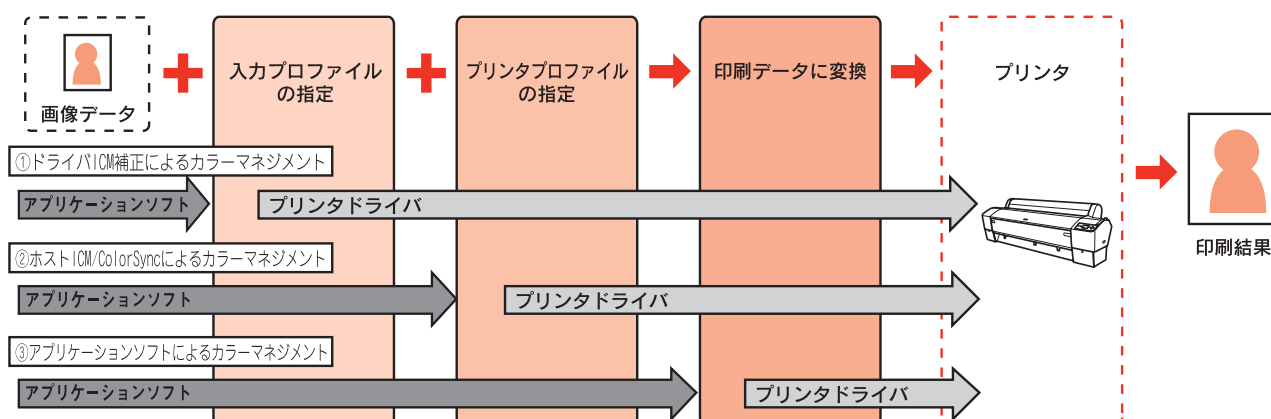
Windows には ICM、Mac OS X には ColorSync というカラーマネジメントシステムが搭載されています。プリンタドライバで行うカラーマネジメントは、このカラーマネジメントシステムを利用します。カラーマネジメントシステムでは、装置間のカラーマッチングを行う方法として ICC プロファイルと呼ばれる色情報の定義ファイルを使用します。プリンタの場合は、機種ごとに、さらに用紙種類ごとに ICC プロファイルが用意されています。デジタルカメラなどでは、sRGB や AdobeRGB などの色領域をプロファイルとして指定する場合があります。

カラーマネジメントでは、データの処理時に入力側装置のプロファイルを入力プロファイル（またはソースプロファイル）、プリンタ側をプリンタプロファイル（またはアウトプットプロファイル）と呼びます。

！重要

デジタルカメラやスキャナで取り込んだ画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と、実際の印刷結果の色合いにズレが生じます。その原因は、「取り込み」、「表示」、「印刷」の 3 者間で、色の発色方法が異なるためです。各装置間の色合いのズレを少なくするために、それぞれの装置間でカラーマネジメントを行ってください。画像データに対して、取り込み装置とプリンタの間でカラーマネジメントを行っても、取り込み装置とディスプレイの間でカラーマネジメントが行われていないと、ディスプレイの表示と印刷結果の色合いは異なってしまいます。

カラーマネジメントの方法

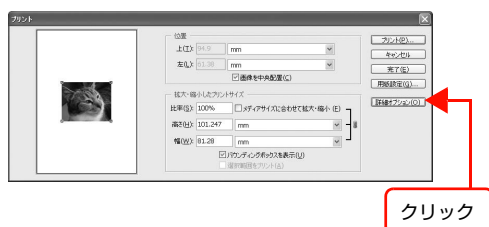
本製品で行えるカラーマネジメントは、以下の３通りです。

カラーマネジメント	入力プロファイル指定	プリンタプロファイル指定	内容
①ドライバ ICM	プリンタドライバ	プリンタドライバ	すべてのプロファイル指定をプリンタドライバで行います。Windows のみで使用可能です。ICM カラーマネジメントに対応していないアプリケーションから印刷するときにもカラーマネジメントを行うことができます。カラーマネジメントに対応したアプリケーションでは、印刷時のマネジメント機能を無効（カラースペースを変更しない）にしてください。 本書 36 ページ「ドライバ ICM 補正によるカラーマネジメント」
②ホスト ICM/ ColorSync	アプリケーションソフト	プリンタドライバ	OS のカラーマネジメント機能を利用して印刷するため、Windows と Mac OS X では、印刷色に差が出ることがあります。アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync のカラーマネジメントに対応している必要があります。 本書 37 ページ「ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネジメント」
③アプリケーション	アプリケーションソフト	アプリケーションソフト	すべてのプロファイル指定をアプリケーションソフトで行います。プリンタドライバ側では、カラー補正をオフ（色調整なし）にします。アプリケーションソフトが独自にカラーマネジメント機能を搭載している場合に、この方法を選択できます。 本書 38 ページ「アプリケーションソフトによるカラーマネジメント」

ドライバ ICM 補正によるカラーマネジメント

Windows のみで使用可能です。印刷する画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルをプリンタドライバで管理して印刷します。

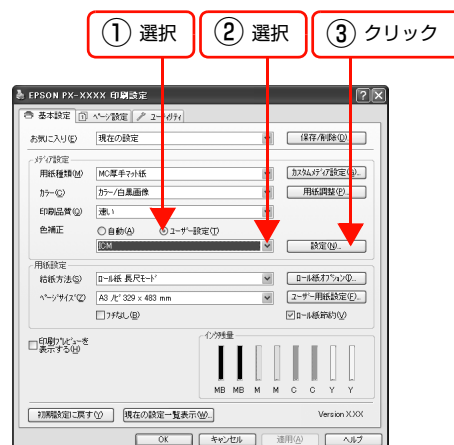
カラーマネジメント機能に対応したアプリケーションソフトから本機能を利用する場合は、アプリケーションソフト側のカラーマネジメント機能をオフにしてください。カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトで本機能を利用する場合は、3 以降の手順でカラーマッチング処理を行います。

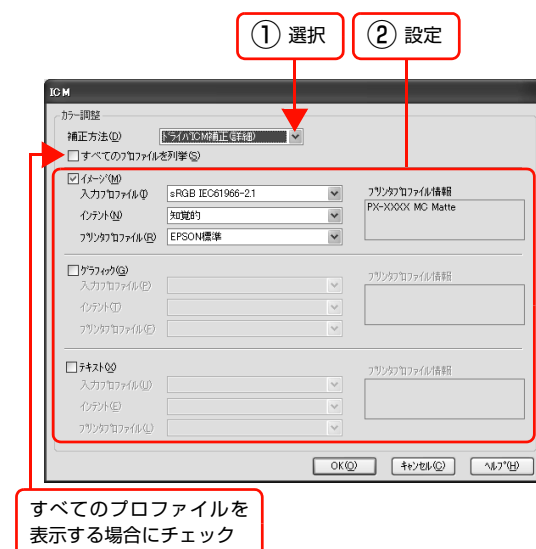
ここでは Adobe Photoshop を例に説明します。

1 Adobe Photoshop の［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［詳細オプション］をクリックします。

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］メニューで［カラーマネージメントなし］を選択して、［完了］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択して、本製品のプリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。

本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

4 ［色補正］の［ユーザー設定］を選択して、［ICM］を選択し、［設定］をクリックします。

5 ［補正方法］メニューから［ドライバ ICM 補正（簡易）］または［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択します。

［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択すると、写真画像のようなイメージデータのほか、グラフィックデータやテキストデータに対して個別にプロファイルとインテントを指定できます。

［すべてのプロファイルを列挙］をチェックすると、コンピュータに登録されているすべてのプロファイルを表示して選択できます。

［OK］をクリックすると元の画面に戻ります。

インテント

指定されたプロファイルを元に、印刷用にデータ変換するときの条件を指定します。

彩度	彩度を保持して変換します。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。

相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。従って、元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

6 **その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

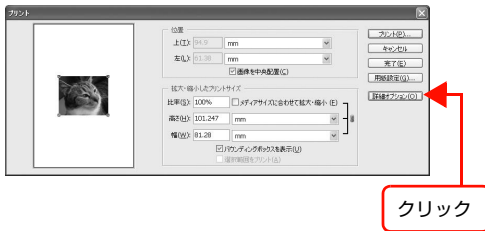
ホストICM/ColorSyncによるカラーマネジメント

OSのカラーマネジメント機能を利用して、プリンタドライバ側でカラーマッチングの設定を行います。画像データはアプリケーションソフトなどで、あらかじめ入力機器やシステムに合わせてカラーマネジメントされている必要があります。

！重要

- 画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。
- アプリケーションソフトは、ICMまたはColorSyncに対応している必要があります。

ここではAdobe Photoshopを例に説明します（画面はWindows）。

1 **Adobe Photoshopの［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［詳細オプション］をクリックします。**

2 **［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］メニューで［プリンタ側でカラーマネジメント］を選択して、［完了］をクリックします。**

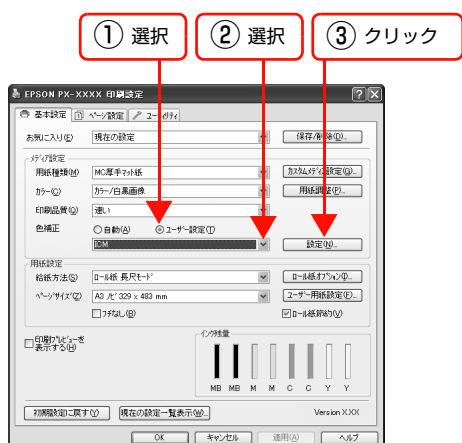
3 **［ファイル］メニューの［プリント］をクリックして、本製品のプリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。（Mac OS X の場合は［印刷］画面）**

Windows の場合 :

☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

Mac OS X の場合 :

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

4 **［色補正］の［ユーザー設定］を選択して、［ICM］を選択し、［設定］をクリックします。**

5 **［補正方法］メニューで［ホスト ICM 補正］を選択します。**
Mac OS X では［ColorSync］を選択します。

［プリンタプロファイル］には、用紙種類に対応した ICC プロファイルが自動的に設定されます。

6 **その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

アプリケーションソフトによるカラーマネジメント

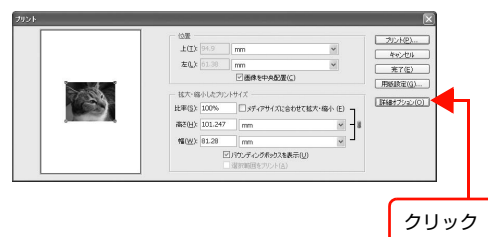
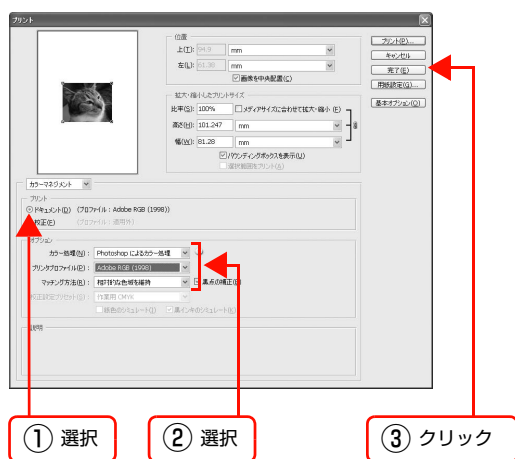
カラーマネジメントシステムに対応したアプリケーションソフトを使用すると、画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をアプリケーションソフトで行い印刷することができます。この場合、プリンタドライバのカラー調整は「オフ（色補正なし）」にします。カラーマネジメントシステムとして Mac OS X の ColorSync や Windows の ICM を使用しないので、印刷結果に OS による違いが発生しません。設定の詳細については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

基本的な手順は以下の通りです。

① アプリケーションソフトで画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をする。

② プリンタドライバのカラー調整をオフにして印刷する。

ここでは Adobe Photoshop を例に説明します（画面は Windows）。

1 **Adobe Photoshop の［ファイル］メニューの［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［詳細オプション］をクリックします。**

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［プリント］の［ドキュメント］を選択します。［オプション］の［カラー処理］メニューで［Photoshop によるカラー処理］を選択し、［プリンタプロファイル］と［マッチング方法］を選択して、［完了］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックして、プリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。(Mac OS X の場合は［印刷］画面)

Windows の場合：
☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

Mac OS X の場合：
☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

4 ［色補正］の［ユーザー設定］を選択して、［オフ（色補正なし）］を選択します。

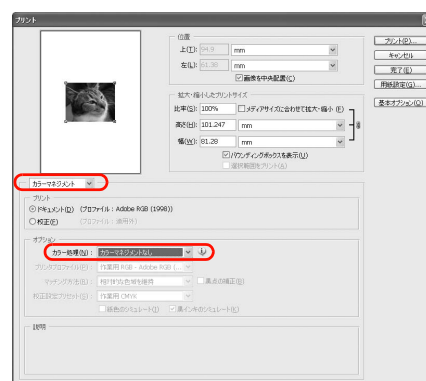
5 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

プリンタドライバによる色調整

※ PX-7550S/PX-7500N/PX-9550S/PX-9500N で使用可能な機能です。

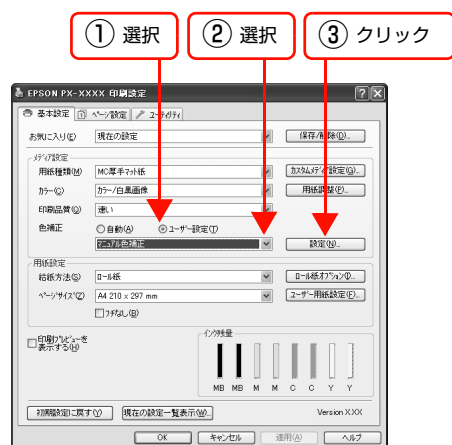
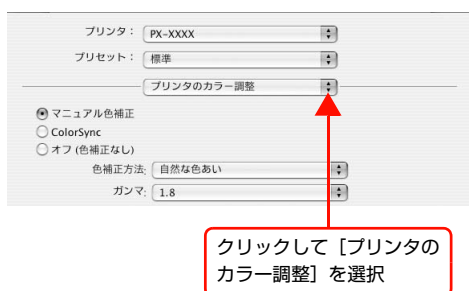
印刷するデータの色合いや明度などを、プリンタドライバ上で微調整して印刷します。使用しているアプリケーションソフトにカラー調整機能がない場合や、手動でカラー調整する場合などに使用します。

Adobe Photoshop等のカラーマネジメント機能をもつアプリケーションソフトからプリンタドライバの色調整機能を使用する場合には、アプリケーションソフト側のカラーマネジメント機能をオフにする必要があります。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X）を表示します。

Windows
☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

Mac OS X

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 Windows では、[色補正] の [ユーザー設定] を選択して、[マニュアル色補正] を選択し、[設定] をクリックします。Mac OS X では、リストから [プリンタのカラー調整] を選択します。

Windows

Mac OS X

3 以下に説明する①から⑩の各項目を設定します。

Windows

Mac OS X

① 色補正方法

次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。

- 自然な色あい

PX-7550S/PX-9550S の初期値です。機種ごとにエプソン独自の色作りをしており、自然な発色状態になるように色処理をします。

- あざやかな色あい

機種ごとにエプソン独自の色作りをしており、彩度を上げ、色味を強くする処理をします。

- EPSON 基準色（Windows）/EPSON 基準色（sRGB）（Mac OS X）
（PX-7500N/PX-9500N のみ）

PX-7500N/PX-9500N の初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。
従来の MAXART プリンタとの互換性を持っています。

- Adobe RGB
（PX-7500N/PX-9500N のみ）

Adobe RGB の色基準に合わせた色処理をします。

② ガンマ

画像の明るい部分と暗い部分に影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整します。

- 1.8

本プリンタドライバの初期値です。

- 2.2

1.8 よりも硬い感じの印刷をします。

③ プレビューウィンドウ

色調を設定する前と設定した後のサンプル画像が表示されます。Windows でのみ表示されます。

④ 明度

画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－25%～＋25%の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

⑤ **コントラスト**
画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－25%～＋25%の間で調整します。プラス（＋）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。

⑥ **彩度**
画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。標準を 0 として、－25%～＋25%の間で調整します。プラス（＋）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［基本設定］画面（Windows）/［印刷設定］画面（Mac OS X）の［カラー］で［黒］を選択すると調整できません。

⑦ **色調整方法**
下のカラーサークルかスライドバーのどちらで色合いを調整するかを選択します。Windows でのみ表示される項目です。

⑧ **色調**
色調の一覧です。⑦で［カラーサークル］を選択している場合は、ここで色合いを調整します。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。Windows でのみ表示される項目です。

⑨ **座標入力**
⑧での座標位置を表示します。数値入力もできます。Windows でのみ表示される項目です。

⑩ **シアン / マゼンタ / イエロー**
⑦で［スライドバー］を選択している場合は、スライドバーを使ってそれぞれの色の強さを調整します。標準を 0 として、－25%～＋25%の間で調整します。［基本設定］画面（Windows）/［印刷設定］画面（Mac OS X）の［カラー］で［黒］を選択すると調整できません。

4 **その他の設定を確認して［OK］（Windows）、［プリント］（Mac OS X）をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

> **参考**
> Mac OS X の［印刷］画面の［プリセット］で［別名で保存］を選択すると、ここでの設定が保存できます。保存した設定値は、［プリセット］で選択して呼び出せます。

以上で終了です。

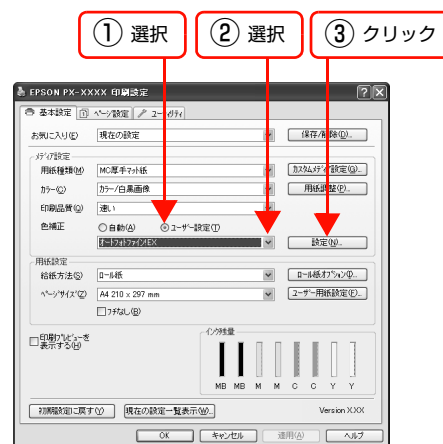
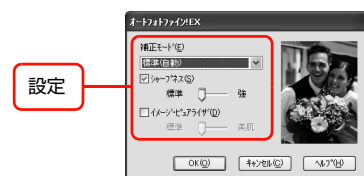
オートフォトファイン!EXによる自動調整(Windowsのみ)

※ PX-7550S/PX-7500N/PX-9550S/PX-9500N で使用可能な機能です。

オートフォトファイン !EX は、画像データを最適な状態に自動色補正します。シャープネスなどの特殊効果も加えて印刷することができます。画像データにカラーマネジメント情報がない場合や、手軽に色調整を行う場合に使用します。画像データの色領域を PX-7550S/PX-9550S では sRGB、PX-7500N/PX-7550/PX-9500N/PX-9550 では Adobe RGB と想定して、より好ましい色に調整して印刷します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。**

☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **［色補正］の［ユーザー設定］を選択して、［オートフォトファイン !EX］を選択し、［設定］をクリックします。**

3 **印刷データにかける効果を選択します。**

- ［色調］は「標準（自動）」、「人物」、「風景」、「夜景」、「セピア」、「モノクロ」から選択します。
- ［シャープネス］では、標準 / 強のスライドバーで、効果の強さを調節することができます。
- ［イメージ · ピュアライザ］ではデジタルカメラ画像などのノイズを低減します。標準 / 美肌のスライドバーで、効果の強さを調節することができます（「モノクロ」では適用できません）。

4 **その他の設定を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

モノクロ印刷

モノクロ印刷には、以下の２種類があります。

種類	プリンタドライバのカラー設定	対応機種	用途
モノクロ印刷	黒	PX-7550S/ PX-7500N/ PX-9550S/ PX-9500N	CAD 図面の線画など、黒インクだけで印刷します。
モノクロ写真印刷	モノクロ写真	PX-7550S/ PX-7550/ PX-9550S/ PX-9550	モノクロ写真印刷用の詳細設定画面を使って、アプリケーションソフトで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です。 印刷時に補正されるだけでデータそのものは変更しません。

PX-7500N/PX-7550/PX-9500N/PX-9550 では、マットブラックインクとフォトブラックインクの使い分けができます。マットブラックインクとフォトブラックインクによって選択可能な用紙種類が異なりますので、必要に応じてブラックインクの種類変更を行ってください。
用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

モノクロ写真印刷に適した用紙の詳細は、以下をご覧ください。
用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

- モノクロ印刷で使用していても、クリーニング時には黒インク以外のインクも消費します。
- モノクロ印刷するときも、すべてのインクカートリッジがセットされていないと印刷できません。

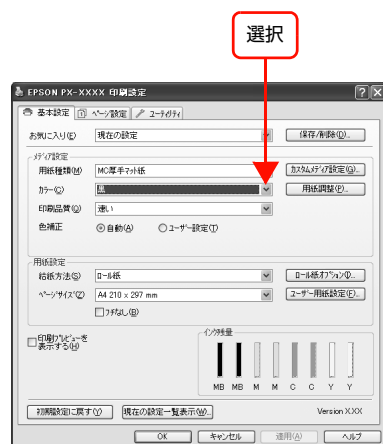
モノクロ印刷の設定

CAD 図面や線画など、黒をくっきりさせるモノクロ印刷を行うときは、プリンタドライバのカラー設定で［黒］を設定します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面の［カラー］で、［黒］を選択し、各項目を設定します。

Mac OS X では、［印刷設定］画面で設定します。

Windows

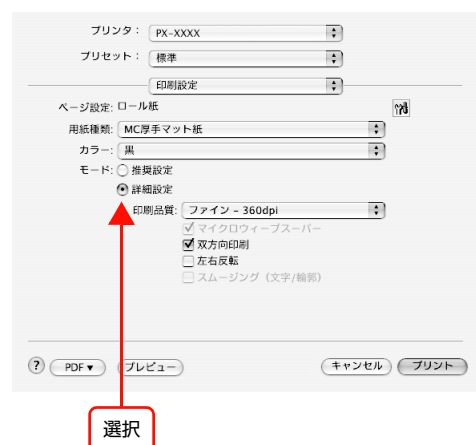
本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

Mac OS X

本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **必要に応じて[色補正]で[ユーザー設定]を選択し、[設定]をクリックします。**

Mac OS X では［詳細設定］をクリックすると［詳細設定］画面が表示されます。

Windows

Mac OS X

3 **以降はカラー印刷と同様の手順で設定をします。**

☞ 本書39ページ「プリンタドライバによる色調整」

以上で終了です。

モノクロ写真印刷の詳細設定

PX-7500N/PX-7550/PX-9500N/PX-9550 では、プリンタドライバのモノクロ写真印刷用のユーザー設定画面を使って、アプリケーションソフトで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です。印刷時に補正を行うだけで、データそのものは変更されません。

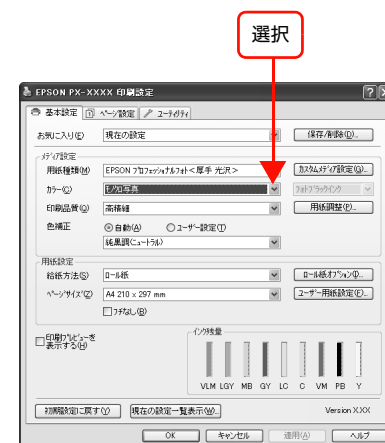
モノクロ写真印刷は、モノクロ写真印刷に適した用紙で行う必要があります。詳細は、以下をご覧ください。

☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

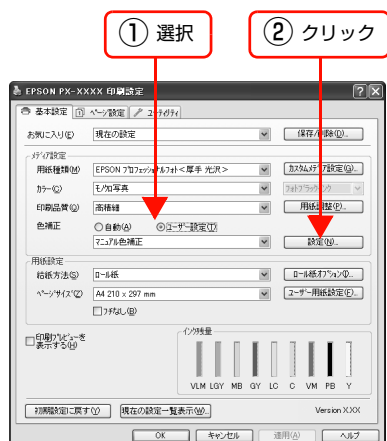
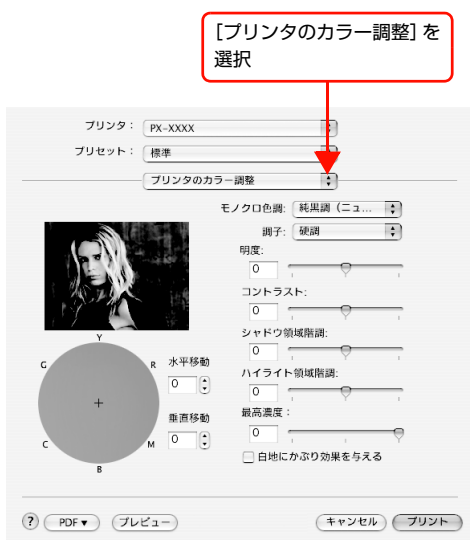
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面の［カラー］で、［モノクロ写真］を選択し、各項目を設定します。**

Mac OS X では、［印刷設定］画面で設定します。

Windows

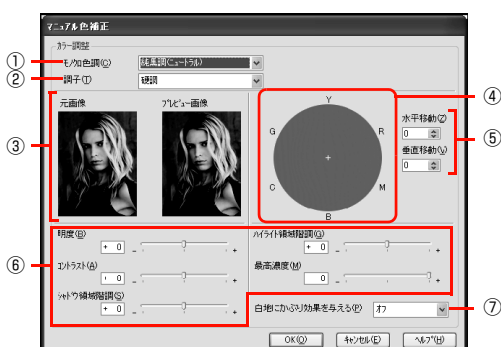
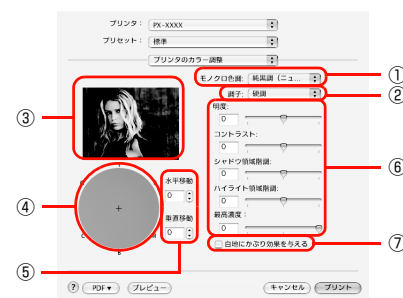
☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

Mac OS X

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **Windows では、[ユーザー設定] を選択し、[設定] をクリックします。Mac OS X では、リストから [プリンタのカラー調整] を選択します。**

Windows

Mac OS X

3 **各項目を設定します。**

Windows

Mac OS X

① モノクロ色調

代表的な色調が選択できます。

純黒調（ニュートラル）、冷黒調（クール）、温黒調（ウォーム）、セピアから選択します。

より詳細な調整をするには②～⑤を使用します。このとき、「手動設定」の表示になります。

② 調子

調子を変更します。以下の項目から選択します。

軟調、標準、やや硬調、硬調、より硬調

③ プレビューウィンドウ

色調を設定する前と後のサンプル画像が表示されます。

④ 色調

色調の一覧です。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。

⑤ 座標入力

④での座標位置を表示します。数値入力もできます。

⑥ 詳細設定

スライドバーを動かして設定します。数値入力もできます。

⑦ 白地にかぶり効果を与える

チェックすると、微量のインクを画像全体に付加して印刷することで、白色部分（紙地）と色のある部分との質感の差をなくします。

『使い方ガイド』（冊子）の巻末には、この機能の効果を強調した印刷サンプルが掲載されています。

4 **設定が終わったら、[OK]（Windows）、[プリント]（Mac OS X）をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

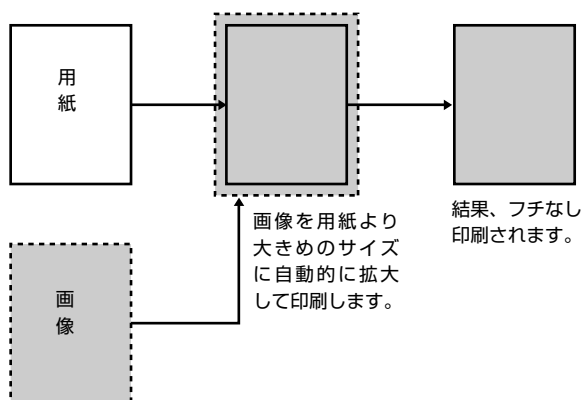
フチなし印刷

フチなし印刷機能によりフチ（余白）のない印刷ができます。単票紙では左右フチなし印刷、ロール紙では四辺フチなし印刷、または左右フチなし印刷が選択できます。フチなし印刷の方法には以下の 2 種類があり、プリンタドライバで選択しますが、カスタム設定（原寸維持）ではあらかじめアプリケーションソフト側でデータの設定が必要です。

- 自動拡大
- カスタム設定（原寸維持）

フチなし印刷の種類

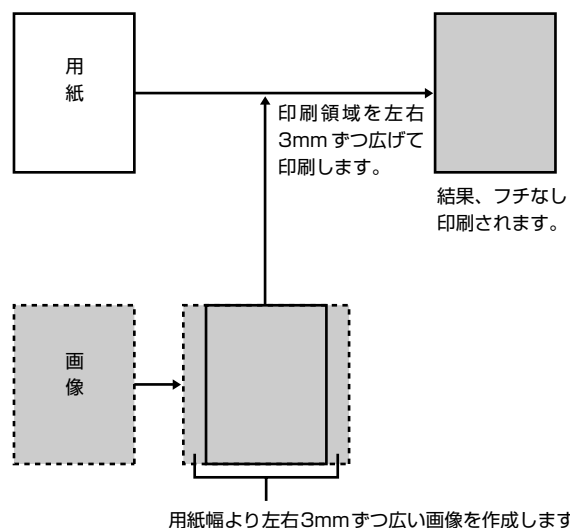
自動拡大

プリンタドライバ側で画像データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、結果としてフチのない印刷が可能になります。

参考

はみ出し量は、以下の３種類から選択できます。
- 少ない：左右 1.5mm
- 標準：左右 3mm
- 多い：左 3mm、右 5mm（画像の左右方向の中心軸が右に 1mm 偏ります）

カスタム設定（原寸維持）

アプリケーションソフト側で実際の用紙サイズより大きな印刷データを作成しておくことにより、フチなし印刷を実現します。プリンタドライバ側では画像データを拡大しません。通常、実際の用紙サイズより左右各 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。上下方向は用紙サイズの大きさで印刷データを作成します。

プリンタドライバによる画像の拡大を避けたいときに使用します。

フチなし印刷対応用紙

フチなし印刷可能な用紙サイズは以下の通りです。これ以外の用紙サイズでは、フチなし印刷を選択できません。また、用紙の種類によっては印刷品質が低下するものや、フチなし印刷を選択できないものがあります。

☞ 用紙ガイド（別冊）「用紙の仕様と設定」

フチなし印刷可能な用紙幅	備考
254mm（10 インチ、四切）	−
300mm	−
329mm（13インチ、A3ノビ）	−
406mm（16 インチ）	−
432mm（17 インチ）	−
515mm（B2）	−
594mm（A1）	−
610mm（24インチ、A1 ノビ）	−
728mm（B1）	PX-9550S/ PX-9500N/PX-9550 のみ
914mm（36インチ、A0ノビ）	
1118mm（44 インチ、B0 ノビ）	

!重要

単票紙では、左右フチなし印刷のみが可能です。
（四辺フチなし印刷が可能なのはロール紙のみです。）

アプリケーションソフト側の設定

アプリケーションソフト側で、フチなし印刷用の印刷データを作成します。自動拡大の場合とカスタム設定（原寸維持）で仕様が異なります。

自動拡大の場合

アプリケーションソフトの「ページ設定」などで画像データのサイズを以下の通り設定します。

- 印刷する用紙サイズと同じサイズのページ設定をする。
- 余白設定できる場合は、余白を「0mm」に設定する。
- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成する。

カスタム設定（原寸維持）の場合

アプリケーションソフトの「ページ設定」などで画像データのサイズを以下の通り設定します。

- 印刷する用紙サイズより左右各 3mm（合計 6mm）広くなるようにページ設定する。
- 余白設定できる場合は、余白を「0mm」に設定する。
- 画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成する。

プリンタドライバ側の設定

前項の設定で作成した画像データを、以下の設定で印刷するとフチなし印刷になります。

Windows での設定

[基本設定]画面

印刷に使用するフチなし印刷可能な用紙、給紙方法、フチなし印刷の選択、オートカット方法、ページサイズを選択します。

給紙方法

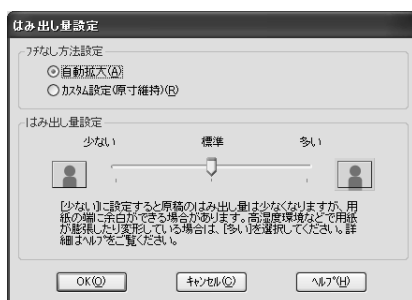
印刷する方法を［ロール紙］、［ロール紙 長尺モード］、［単票紙］から選択します。［ロール紙］または［ロール紙 長尺モード］を選択した場合は、［ロール紙オプション］をクリックしてオートカットの方法を選択します。

ページ(用紙)サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて［ページ（用紙）サイズ］を設定します。

フチなし

［フチなし］をチェックし、［はみ出し量］をクリックします。

[はみ出し量設定]画面

フチなし方法設定

フチなし印刷の方法を［自動拡大］、［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。

はみ出し量設定

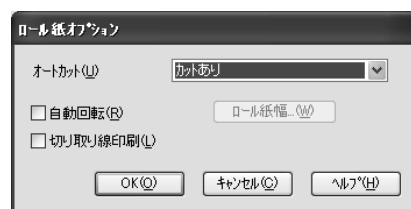
自動拡大時のはみ出し量を選択します。

少ない	左右 1.5mm
標準	左右 3mm
多い	左 3mm、右 5mm（画像の左右方向の中心軸が右に 1mm 偏ります）

参考

はみ出し量を［少ない］にすると画像データの拡大量が少なくなります。作成した画像データの周辺部のデータの欠けが少なくなります。ただし、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

[ロール紙オプション]画面

ロール紙に印刷する場合のカット方法を選択します。

Mac OS X での設定

[用紙設定]画面

印刷に使用するフチなし印刷可能な用紙サイズを選択します。

用紙サイズ

用紙サイズとフチなし印刷の方法（自動拡大、原寸維持）を選択します。

[はみ出し量設定]画面

[印刷]画面のリストから[はみ出し量設定]を選択します。

はみ出し量設定

自動拡大時のはみ出し量を選択します。

少ない	左右 1.5mm
標準	左右 3mm
多い	左 3mm、右 5mm（画像の左右方向の中心軸が右に 1mm 偏ります）

はみ出し量を［少ない］にすると画像データの拡大量が少なくなります。作成した画像データの周辺部のデータの欠けが少なくなります。ただし、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

[印刷設定]画面

［印刷］画面のリストから［印刷設定］を選択し、［用紙種類］を選択します。

[ロール紙オプション]画面

ロール紙に印刷する場合の、カット方法を選択します。

自動拡大とカスタム設定(原寸維持)の設定一覧

	プリンタドライバの設定		説明
	Windows ①［給紙方法］ ②［はみ出し量設定］	Mac OS X ［用紙サイズ］ XXXX は用紙サイズ	
ロール紙	①ロール紙 ②自動拡大	XXXX（ロール紙（フチなし、自動拡大））	ロール紙にフチなし印刷するときに選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。左右にはみ出した部分は印刷されません。
	①ロール紙 ②カスタム設定（原寸維持）	XXXX（ロール紙（フチなし、原寸維持））	ロール紙にフチなし印刷するときに選択します。プリンタドライバは、印刷データの大きさを上下左右とも維持したまま印刷します。アプリケーションソフトで用紙サイズより左右方向が 6mm 大きくなるように印刷データを作成します。 プリンタドライバは用紙サイズに対して左右に 3mm ずつ広げて印刷することで、フチなし印刷を実現します。
	①ロール紙 長尺モード ②自動的にカスタム設定（原寸維持）に設定される	XXXX（ロール紙（フチなし、長尺））	長尺印刷アプリケーションを使用してフチなし印刷するときに選択します。プリンタドライバは、印刷領域を用紙幅に対して左右を 3mm ずつ広げて印刷します。印刷データの大きさを拡大しないため、上下方向は作成した大きさのまま印刷します。ただし、あらかじめ用紙サイズより左右に 3mm ずつはみ出した原稿を作成する必要があります。上下にも余白はできません。
単票紙	①単票紙 ②自動拡大	XXXX（単票紙（フチなし、自動拡大））	単票紙に左右フチなし印刷するときに選択します。自動拡大でのフチなし印刷は、プリンタドライバが印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させて印刷します。はみ出し量は［はみ出し量設定］の画面で変更できます。上下方向にも左右と同じ比率で拡大します。印刷データを自動的に拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、左右にはみ出した部分は印刷されず、また上 3mm、下 14mm の余白ができます。
	①単票紙 ②カスタム設定（原寸維持）	XXXX（単票紙（フチなし、原寸維持））	単票紙に左右フチなし印刷するときに選択します。原寸維持は、印刷データの大きさを維持したまま印刷することでフチなし印刷します。あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズより左右方向が 6mm 大きくなるように印刷データを作成して印刷します。 プリンタドライバも印刷領域を左右 3mm ずつ広げて印刷し、フチなし印刷を実現します。上下方向は作成された印刷データのまま印刷しますが、それぞれ上3mm、下14mm の余白ができます。

アプリケーションソフトごとの設定例

Windows版の Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Adobe Illustrator、Microsoft Word、Microsoft PowerPoint を例に、それぞれのアプリケーションでフチなし印刷する場合の設定と印刷方法を説明します。

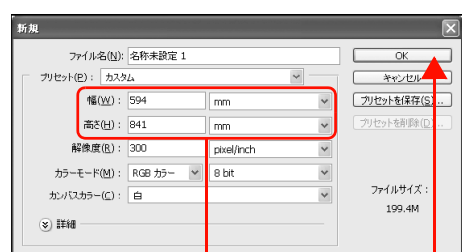
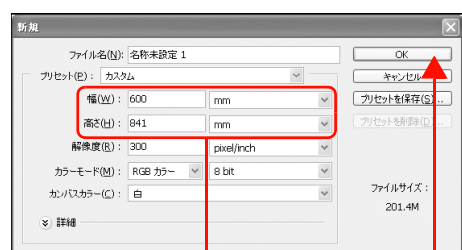
Adobe Photoshop での設定

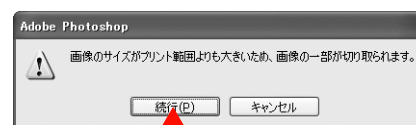
1 Adobe Photoshop の［ファイル］－［新規］をクリックします。

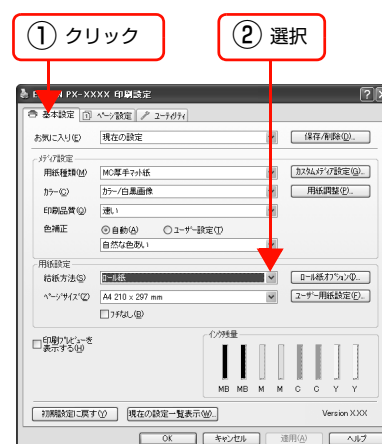
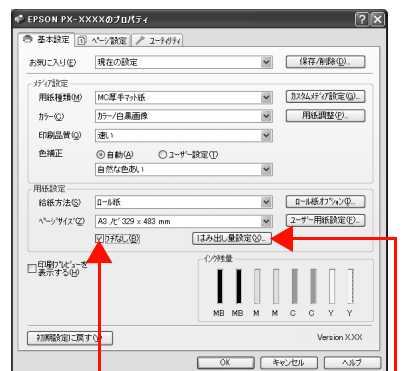
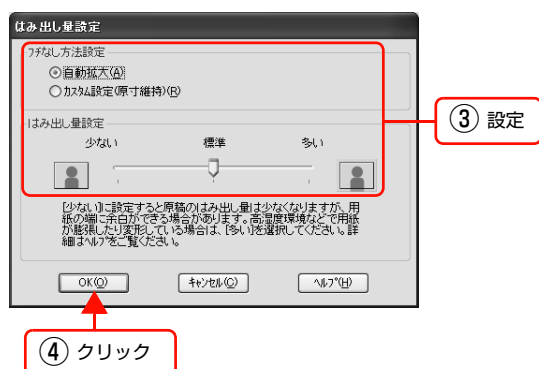
2 フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

拡大方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大	用紙サイズと同じサイズを設定	
カスタム設定（原寸維持）	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

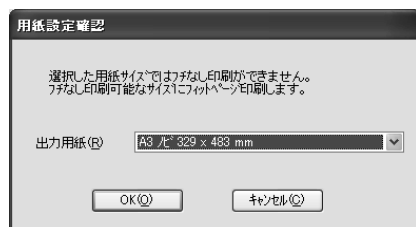
以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する例です。

自動拡大の場合

カスタム設定（原寸維持）の場合

3 印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

4 以下の画面が表示されたら［続行］をクリックします。

5 プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

6 ［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

7 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を選択して、［OK］をクリックします。

「自動拡大」を選択すると、はみ出し量が設定できます。

フチなし印刷できない用紙が選択されている場合は、［用紙設定確認］画面が表示されます。

フチなし印刷可能な用紙サイズについては、以下をご覧ください。

☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」

この画面で用紙サイズを選択しなおすと、そのサイズにフィットページ印刷されます。

8 ［ページ（用紙）サイズ］を選択したり、［ロール紙オプション］をクリックして［オートカット］を選択したりなど、必要な設定を行います。

9 印刷する用紙の用紙種類などを設定して印刷を実行します。

以上で終了です。

Adobe Photoshop Elements での設定

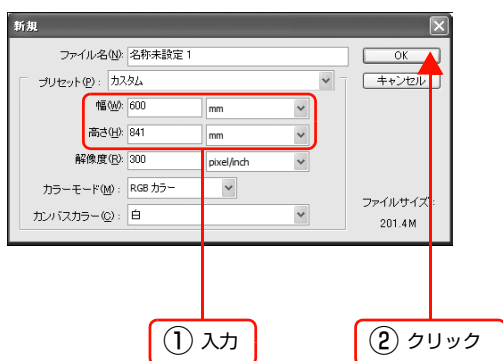
1 Adobe Photoshop Elements のスタートアップスクリーンで［新規ファイルを作成］をクリックします。

2 フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

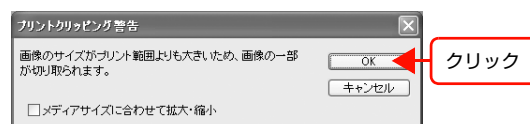
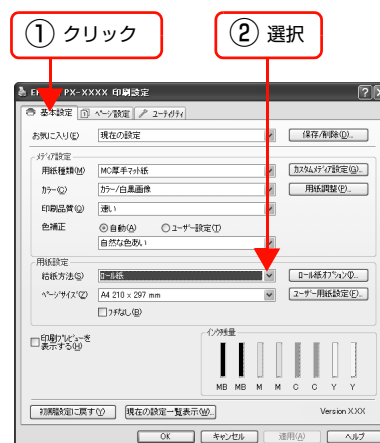
フチなし印刷方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大	用紙サイズと同じサイズを設定	
カスタム設定（原寸維持）	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する例です。

自動拡大の場合

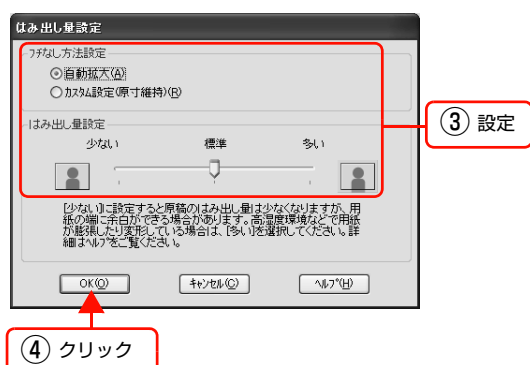
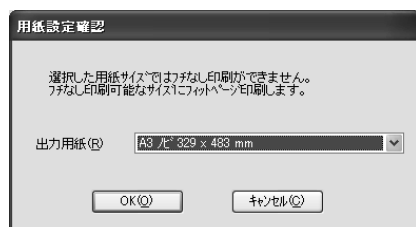
カスタム設定（原寸維持）の場合

3 印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

4 ［プリントプレビュー］画面で［プリント］をクリックします。

5 以下の画面が表示されたら［OK］をクリックします。

6 プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

7 ［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を選択して、［OK］をクリックします。**

「自動拡大」を選択すると、はみ出し量が設定できます。

参考

フチなし印刷できない用紙が選択されている場合は、［用紙設定確認］画面が表示されます。
フチなし印刷可能な用紙サイズについては、以下をご覧ください。
☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」

この画面で用紙サイズを選択しなおすと、そのサイズにフィットページ印刷されます。

9 **［ページ（用紙）サイズ］を選択したり、［ロール紙オプション］をクリックして［オートカット］を選択したりなど、必要な設定を行います。**

10 **印刷する用紙の用紙種類などを設定して印刷を実行します。**

以上で終了です。

Adobe Illustrator での設定

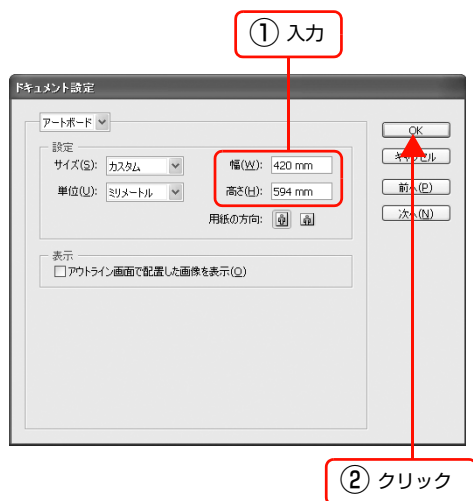
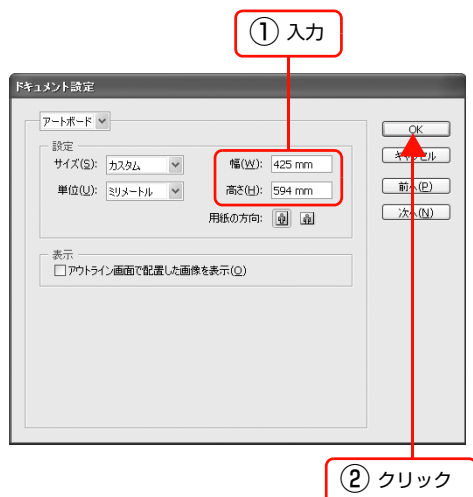
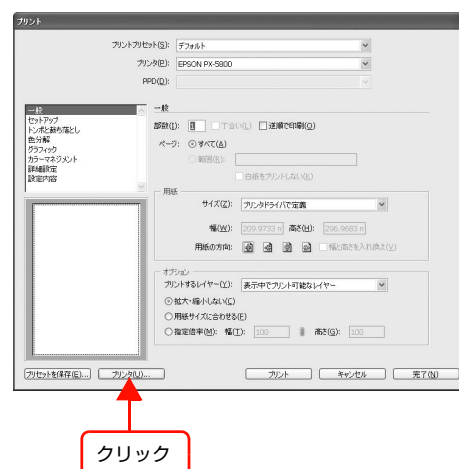
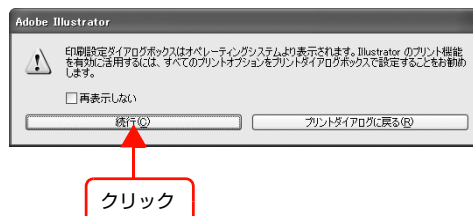
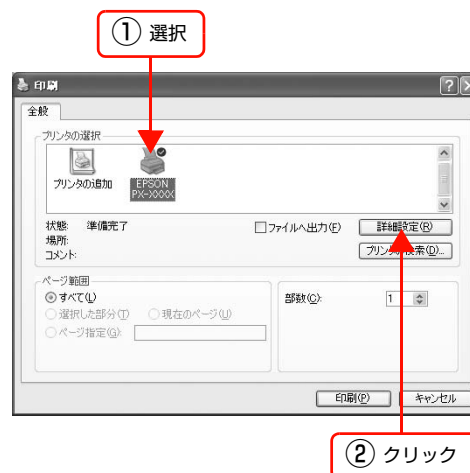
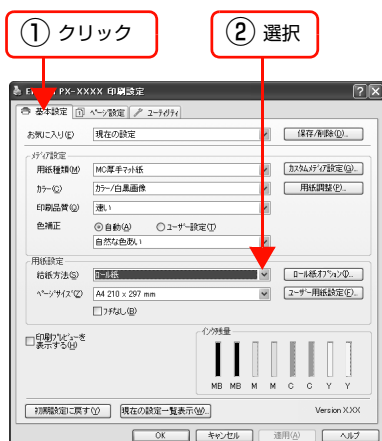
1 Adobe Illustrator の［ファイル］メニューから［新規］を選択して新規書類を作成します。

2 ［ファイル］メニューから［ドキュメント設定］を選択します。

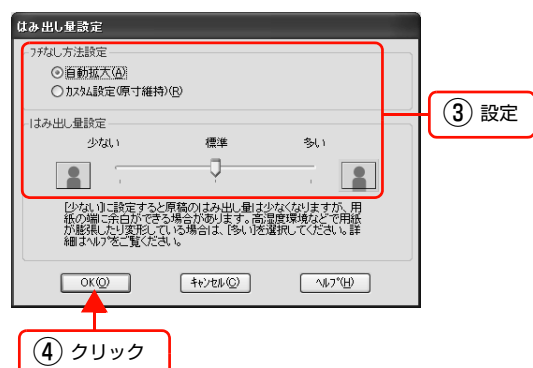
3 フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

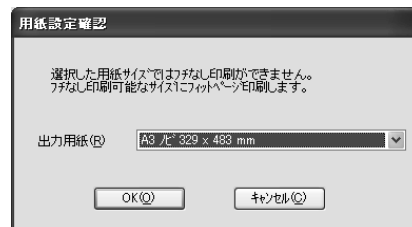
フチなし印刷方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大	用紙サイズと同じサイズに設定	
カスタム設定（原寸維持）	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する例です。

自動拡大の場合

カスタム設定(原寸維持)の場合

4 印刷するジョブを作成したら、［ファイル］メニューから［プリント］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

5 ［続行］をクリックします。

6 プリンタ名を選択して、［詳細設定］をクリックします。

7 ［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を選択して、［OK］をクリックします。

「自動拡大」を選択すると、はみ出し量が設定できます。

参考

フチなし印刷できない用紙が選択されている場合は、［用紙設定確認］画面が表示されます。
フチなし印刷可能な用紙サイズについては、以下をご覧ください。

☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」

この画面で用紙サイズを選択しなおすと、そのサイズにフィットページ印刷されます。

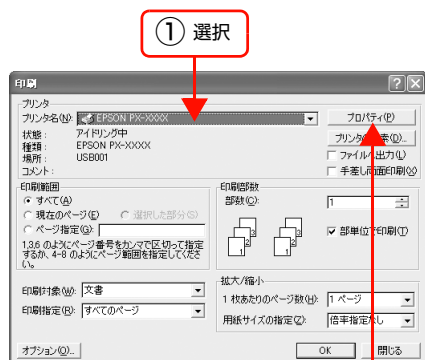
9 ［ページ（用紙）サイズ］を選択したり、［ロール紙オプション］をクリックして［オートカット］を選択したりなど、必要な設定を行います。

10 印刷する用紙の用紙種類などを設定して印刷を実行します。

以上で終了です。

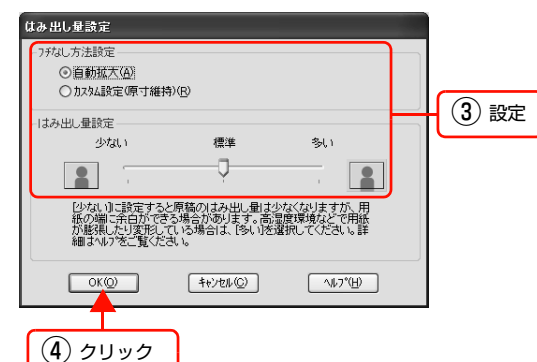
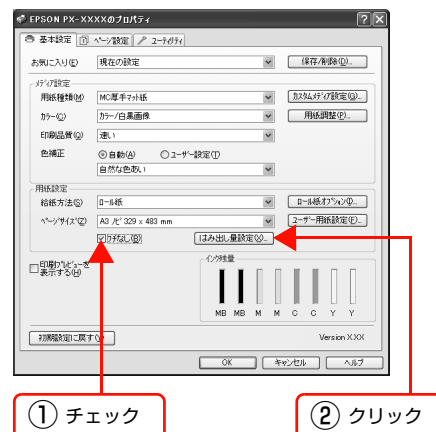
Microsoft Word での設定

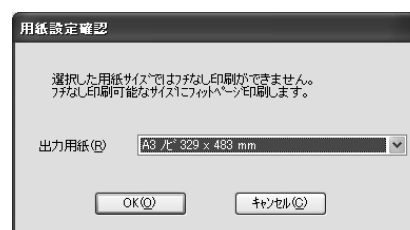
1 Microsoft Word の［ファイル］メニューから［新規作成］を選択して新規文書を作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

3 ［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

4 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を選択して、［OK］をクリックします。

「自動拡大」を選択すると、はみ出し量が設定できます。

参考

フチなし印刷できない用紙が選択されている場合は、［用紙設定確認］画面が表示されます。
フチなし印刷可能な用紙サイズについては、以下をご覧ください。

☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」

この画面で用紙サイズを選択しなおすと、そのサイズにフィットページ印刷されます。

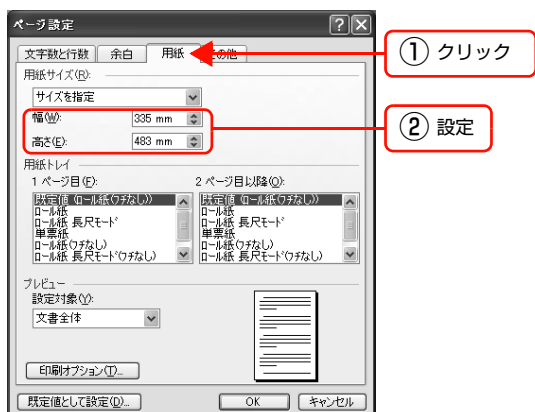
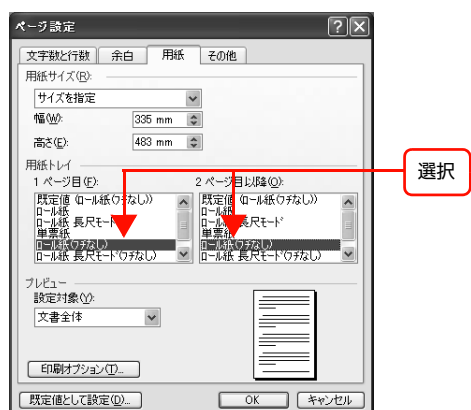
5 ［ページ（用紙）サイズ］を選択したり、［ロール紙オプション］をクリックして［オートカット］を選択したりなど、必要な設定を行います。

6 印刷する用紙の用紙種類などを設定し、[OK] をクリックしてプリンタドライバのプロパティ画面を閉じます。

7 [閉じる] をクリックして Microsoft Word の [印刷] 画面を閉じます。

8 [ファイル] メニューから [ページ設定] を選択し、[用紙] タブの [用紙サイズ] の [幅] と [高さ] を以下のように設定します。

フチなし印刷方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大	用紙サイズと同じサイズに設定	
カスタム設定（原寸維持）	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

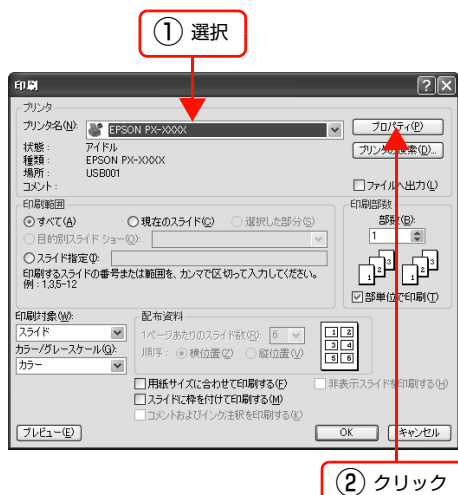
以下は A3 ノビサイズ（329mm × 483mm）の用紙に [四辺フチなし 2 カット] でフチなし印刷する場合の例です。

9 [用紙トレイ] で、[1 ページ目] と [2 ページ目以降] にそれぞれ印刷する用紙に合わせて、[ロール紙（フチなし）] または [単票紙（フチなし）] を選択します。

10 [余白] タブをクリックし、[上]、[下]、[左]、[右] すべて 0mm に設定して、[OK] をクリックします。

11 [ファイル] メニューから [印刷] を選択して印刷を実行します。

以上で終了です。

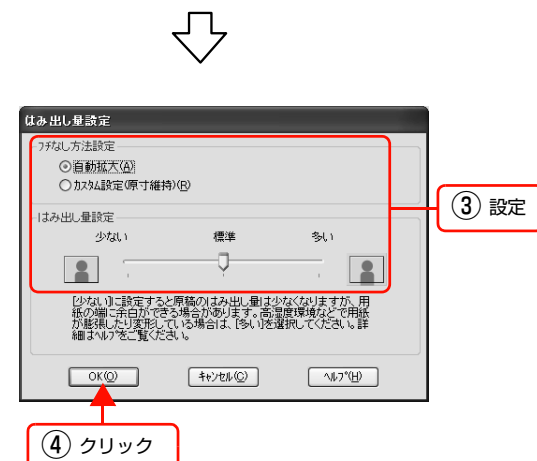
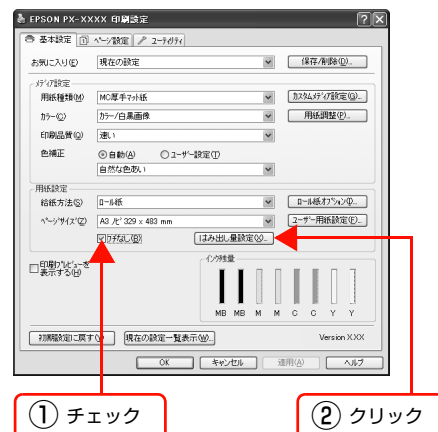
Microsoft PowerPoint での設定

1 Microsoft PowerPoint を起動し、新規プレゼンテーションを作成します。

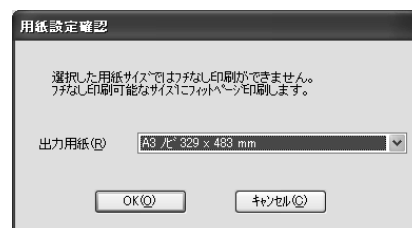
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

3 ［基本設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

4 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を選択して、［OK］をクリックします。

「自動拡大」を選択すると、はみ出し量が設定できます。

参考

フチなし印刷できない用紙が選択されている場合は、［用紙設定確認］画面が表示されます。

フチなし印刷可能な用紙サイズについては、以下をご覧ください。

☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」

この画面で用紙サイズを選択しなおすと、そのサイズにフィットページ印刷されます。

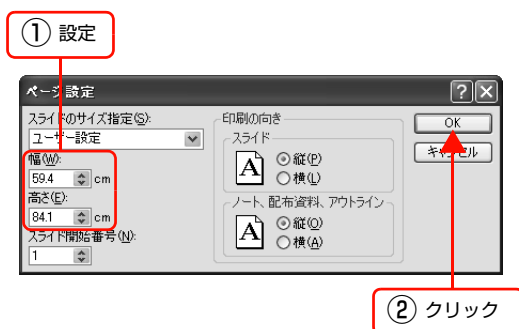
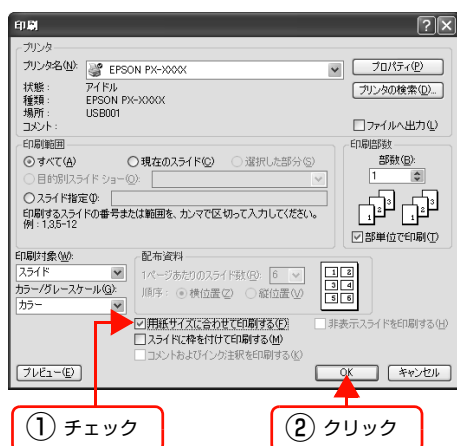
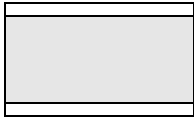
5 ［ページ（用紙）サイズ］を選択したり、［ロール紙オプション］をクリックして［オートカット］を選択したりなど、必要な設定を行います。

6 **印刷する用紙の用紙種類などを設定し、［OK］をクリックしプリンタドライバのプロパティ画面を閉じます。**

7 **［キャンセル］をクリックして Microsoft PowerPoint の［印刷］画面を閉じます。**

8 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［ページ設定］画面で［幅］と［高さ］を以下のように設定して、［OK］をクリックします。**

フチなし印刷方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大	用紙サイズと同じサイズに設定	
カスタム設定（原寸維持）	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

以下は A1 サイズ（594mm × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する例です。

9 **［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、［用紙サイズに合わせて印刷する］をチェックして、［OK］をクリックして印刷を実行します。**

以上で終了です。

フチなし印刷時のロール紙カット動作について

四辺フチなし1カット、四辺フチなし2カットでは、カットされた用紙サイズが、プリンタドライバ上で選択した用紙サイズより長さ方向で約 2mm 短くなることがあります。ここでは、これを回避するための方法について説明します。

ロール紙のカット動作

フチなし印刷時に、ロール紙のオートカットを実行すると以下のようにカットされます。

左右フチなし	四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし 2 カット
カット（任意） カット（任意） カット（任意） 排紙方向	カット カット ページ間を 1 回でカット カット カット 排紙方向	カット カット 次ページ上端カット（2 回目） 前ページ終端カット（1 回目） カット カット 排紙方向
―	• 画像と画像の境界をカットするため印刷時間が短くなります。カット位置がずれると上下端に前後の画像が残ることがあります。 • 画像を連続して印刷する場合、1枚目の上端と最終の下端のみ余白が残らないように画像の内側（約 1mm）をカットします。1枚だけ印刷する場合は、2カットと同様に指定サイズより約 2mm 短くなります。 • 画像の先端は、印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生することがあります。	• 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後2箇所をカットします。画像間の切れ端（約 80 ～ 130mm）が発生しますが、より正確にカットできます。 • 画像の上下端に余白が残らないように画像の内側（約 1mm）でカットするため、指定サイズより約 2mm 短くなります。 • 画像の先端は、印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生することがあります。

用紙サイズどおりにカットする方法

四辺フチなし印刷でオートカットする場合に、用紙サイズが短くならない方法は以下の通りです。オートカット方法として、［四辺フチなし2カット］を選択します。四辺フチなし1カットでは、1枚目、2枚目、最終枚目で用紙の長さが異なることがあります。

アプリケーションソフト側の設定

フチなし印刷方法として、「カスタム設定（原寸維持）」を選択する場合は、長さ方向を実際の用紙サイズより 2mm 長く設定します。この部分がカットされることにより用紙サイズと一致することになります。

「自動拡大」を選択した場合は、プリンタドライバ側で画像データが拡大されるため用紙サイズと同じサイズを設定します。

プリンタドライバ側の設定

［基本設定］タブの［ページ（用紙）サイズ］で［ユーザー定義サイズ］を選択します。ユーザー定義サイズには、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを設定し、これを用紙サイズとして選択します。これによりプリンタドライバ側で 2mm 長い印刷が行われ、内側 2mm 分がカットされることにより、用紙サイズと一致します。

1 ［ページ（用紙）サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択し、［ユーザー用紙設定］をクリックします。

2 ［ユーザー定義用紙サイズ］で［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を以下の通り設定し、［保存］、［OK］とクリックします。

［用紙サイズ名］
作成したユーザー定義サイズに新しい名前を付けることができます（任意）。

［用紙幅］
印刷する用紙サイズと同じサイズ

［用紙長さ］
印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ

以下の例は、A1 サイズ（594mm × 841mm）の用紙で、フチなし印刷する場合の例です。［ベース用紙サイズ］から［A1 594 x 841 mm］を選択し、用紙長さに 843.0（841.0 + 2.0）を設定します。

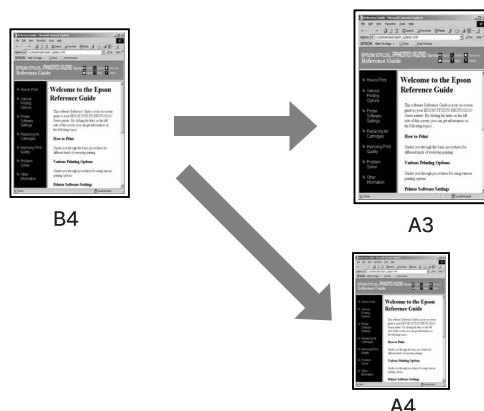
3 ［ページ（用紙）サイズ］に **2** で作成したユーザー定義サイズの用紙サイズが選択されていることを確認し、印刷を実行します。

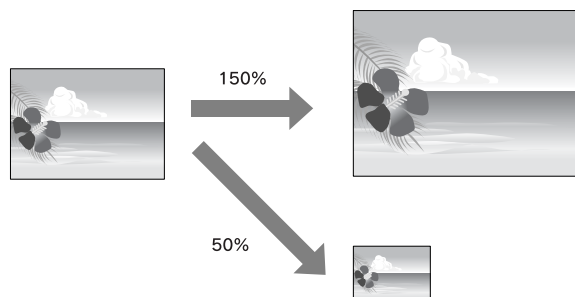
以上で終了です。

拡大 / 縮小印刷

原稿を拡大または縮小して印刷できます。設定方法には以下の 2 種類があります。

フィットページ印刷（Windows のみ）

印刷する用紙サイズを選択するだけで自動的に用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小して印刷できます。

任意倍率設定

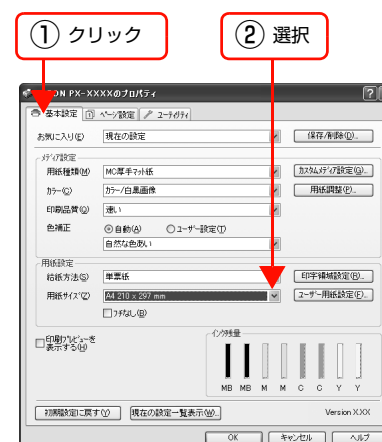
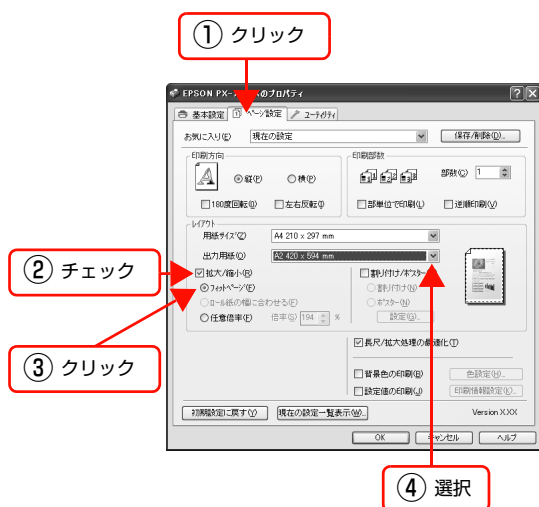
定形外の用紙サイズの場合など、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

フィットページ印刷（Windows のみ）

プリンタにセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷できます。

フィットページ印刷機能は、ロール紙の長尺モードで印刷する場合は設定できません。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **［基本設定］タブをクリックして、［ページ（用紙）サイズ］でデータサイズと同じ用紙サイズを設定します。**

3 ［ページ設定］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］をクリックします。［出力用紙］からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。

参考

［基本設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

4 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

任意倍率設定印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷できます。

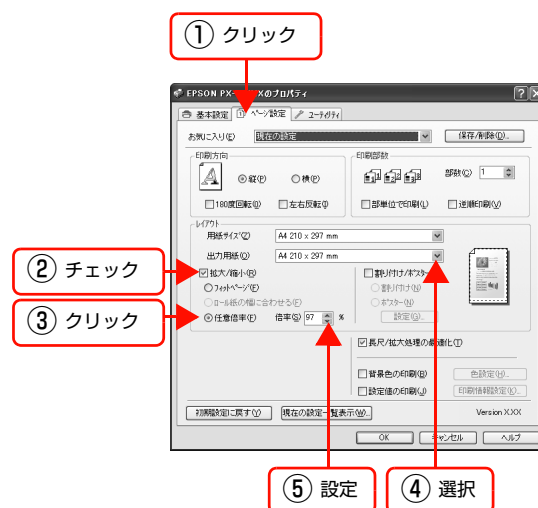
任意倍率設定印刷機能は、フチなし印刷またはロール紙の長尺モードで印刷する場合、設定できません。

Windows での設定

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 ［ページ設定］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［任意倍率］をクリックします。［出力用紙］を選択し、［倍率］を設定します。

［出力用紙］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。
倍率は、数値を直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定してください。
10 〜 650% の間で倍率を指定できます。

3 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

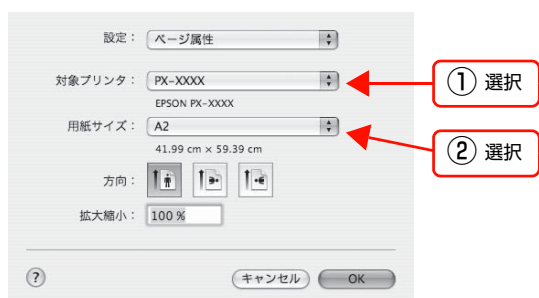
以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

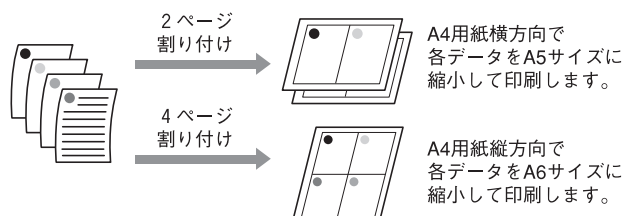
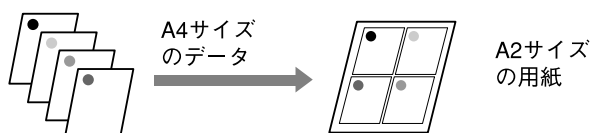
2 **［対象プリンタ］と［用紙サイズ］を選択します。**

［用紙サイズ］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。

3 **［拡大/縮小］を入力します。25～400%の間で倍率を指定できます。**

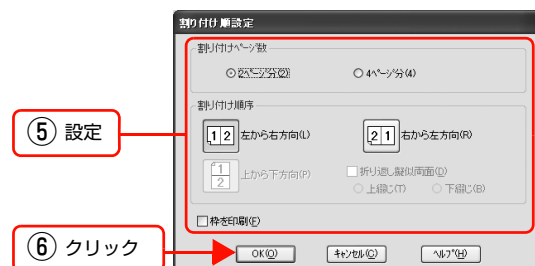
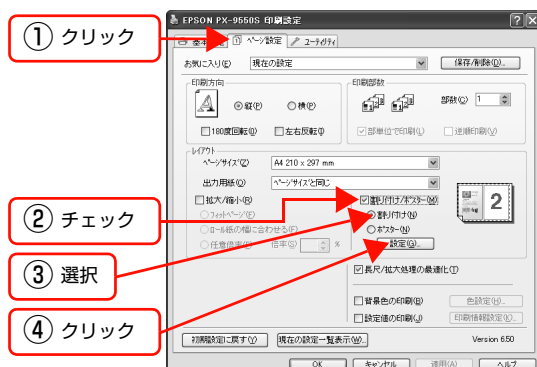
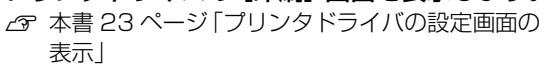
4 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

以上で終了です。

割付印刷

1 枚の用紙に複数ページ分の連続したデータを割り付けて印刷できます。
A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

- Windows はプリンタドライバの機能で、Mac OS X は OS の機能で割り付け印刷をします。
- Windows での割付印刷機能は、単票紙またはロール紙をフチありで印刷する場合のみ使用できます。そのほかの場合は、画面がグレーアウトされて設定できません。
- Windows では、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
  本書 62 ページ「拡大 / 縮小印刷」

Windows での設定

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **［ページ設定］タブをクリックして、［割り付け / ポスター］をチェックし、［割り付け］を選択します。［設定］をクリックして、割り付けるページ数や割り付け順を設定し、［OK］をクリックします。**

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

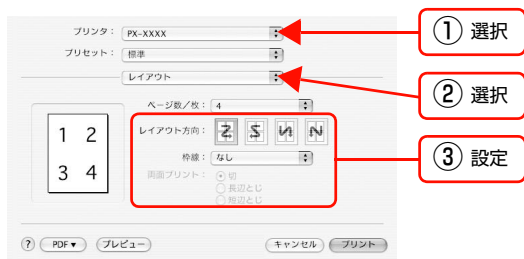
3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

Mac OS X での設定

1 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

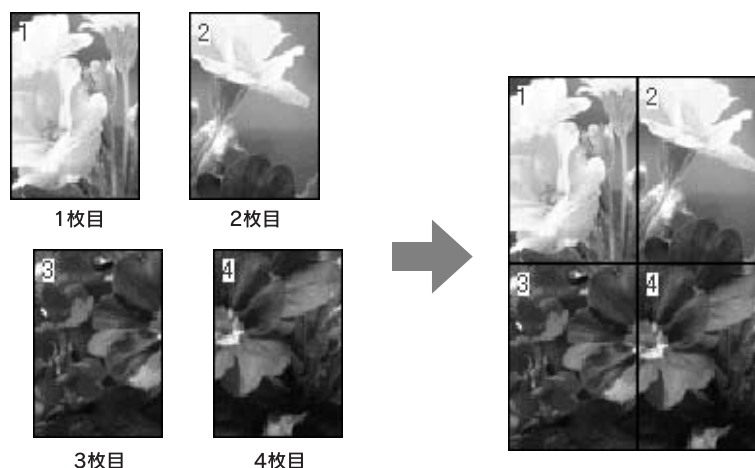
2 **［プリンタ］で、使用するプリンタを選択して、リストから［レイアウト］を選択し、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

参考

［枠線］で［なし］以外を選択すると、割り付けたページに、選択した線種で枠線が印刷されます。

3 **そのほかの設定を確認し、［プリント］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

ポスター印刷（フチなし）

ポスター印刷（フチなし）は、印刷データを自動的に拡大分割してフチなし印刷できる機能です。フチなしの印刷結果をそのままつなぎ合わせて、大きなポスターなどを作ることができます。Windows で使用できる機能です。

！重要

- ポスター機能（フチなし）は、ロール紙のみで使用できます。
- ポスター機能（フチなし）では用紙の端が約 1mm 欠けることがあり、つなぎ目がぴったり合わないことがあります。つなぎ目をぴったり合わせたいときは「ポスター印刷（フチあり）」をお試しください。
☞ 本書 69 ページ「ポスター印刷（フチあり）」

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。
☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 ［基本設定］タブをクリックし、［ロール紙］または［単票紙］を選択します。

3 ［ページ（用紙）サイズ］から、印刷に使用する用紙のサイズを選択し、［フチなし］をチェックします。

4 ［ページ設定］タブをクリックして、［割り付け / ポスター］をチェックし、［ポスター］をクリックします。［設定］をクリックして、何分割で印刷するかの設定と印刷面の選択をし、［OK］をクリックして元の画面に戻ります。

参考
分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターが作成できます。

印刷面の選択
各ページをクリックするとことで、分割したページの印刷する / しないを選択します。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。

5 **そのほかの設定を確認し、[OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

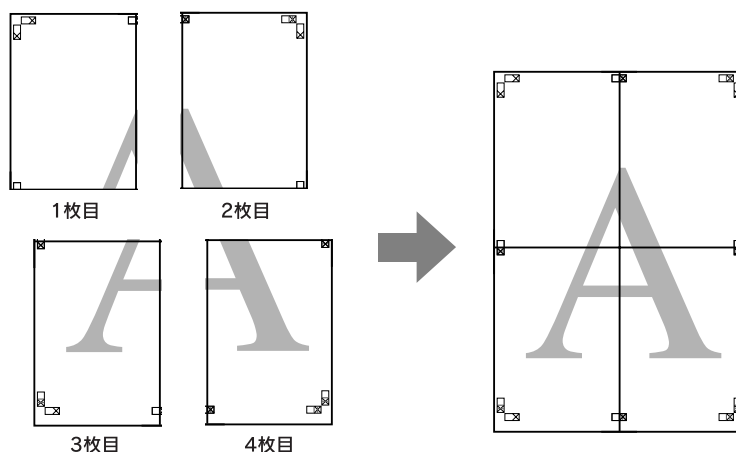
以上で終了です。

印刷結果のつなぎ合わせ方

ここでは４枚のつなぎ合わせ方法を説明します。分割されたそれぞれの印刷結果を図柄を見ながら合わせ、裏から粘着テープなどを使ってつなぎ合わせます。

下図はつなぎ合わせる順序の例です。

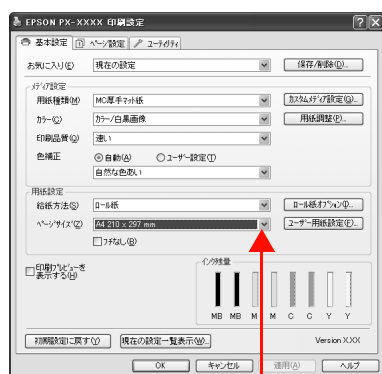
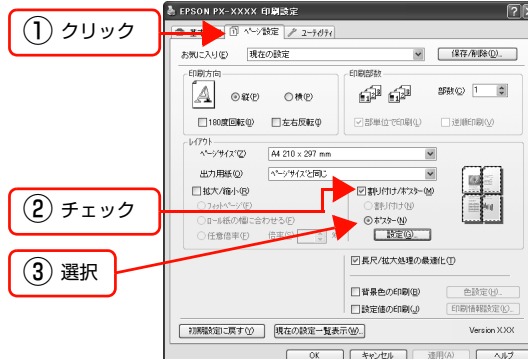
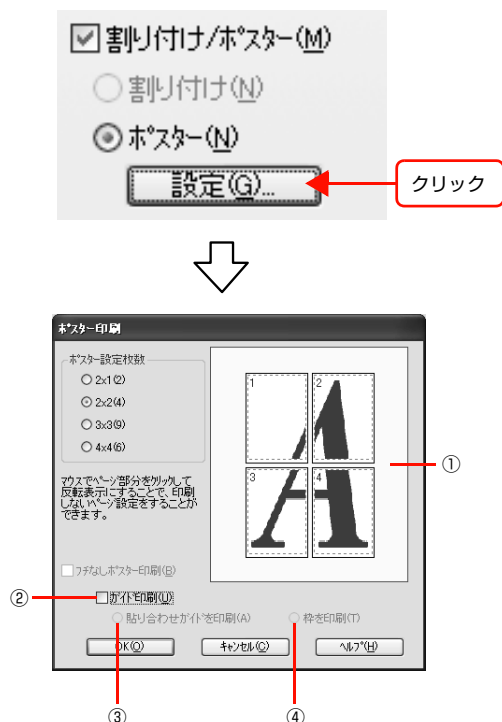
ポスター印刷（フチあり）

ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大分割して印刷できる機能です。印刷結果をつなぎ合わせると、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。Windows で使用できる機能です。

!重要　ポスター印刷機能は、定形の単票紙またはロール紙のみで使用できます。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 ［基本設定］タブをクリックし、［ロール紙］または［単票紙］を選択します。

3 ［ページ（用紙）サイズ］から、印刷に使用する用紙のサイズを選択します。

4 ［ページ設定］タブをクリックし、［レイアウト］で［割り付け / ポスター］をチェックし、［ポスター］をクリックします。

5 ［設定］をクリックして、①から④の項目を設定し、［OK］をクリックして元の画面に戻ります。

① 印刷面の選択
各ページをクリックすることで、分割したページの印刷する / しないを選択します。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。

② ガイド印刷
貼り合わせるときに便利なガイドや枠線を印刷します。

③ 貼り合わせガイドを印刷
貼り合わせるときに用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷します。また、貼り合わせるためのガイドも印刷します。

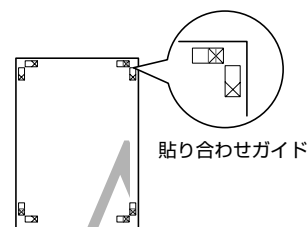
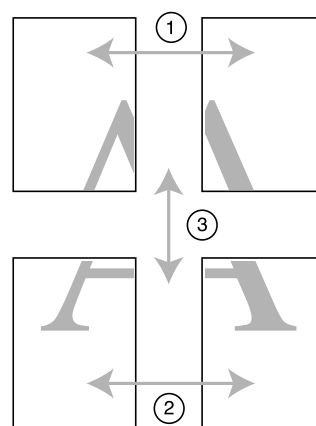
④ 枠を印刷
余白部分を切り取る際の枠線を印刷します。

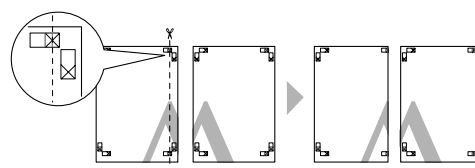
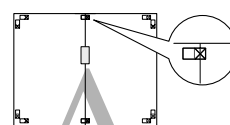
参考
- 分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターが作成できます。
- 貼り合わせ後の仕上がりサイズについて
［枠を印刷］を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、［貼り合わせガイドを印刷］を選択すると、重ね合わせ分だけ小さくなります。

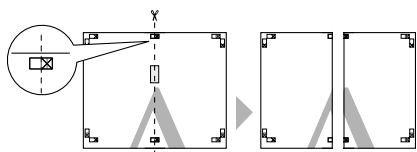
6 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

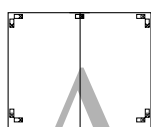
以上で終了です。

貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方

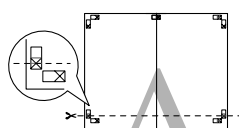
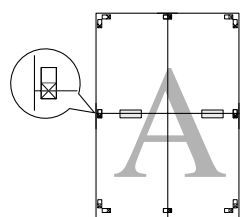
［貼り合わせガイド印刷］を選択して印刷すると、下図のような貼り合わせガイドを印刷します。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して､4 枚の用紙の貼り合わせ方法を説明します。

4 枚の用紙は、下図の順番で貼り合わせます。

貼り合わせ手順

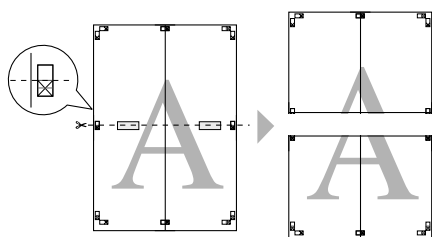
1 上段 2 枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。
モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

2 切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。

3 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

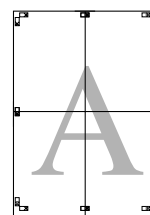
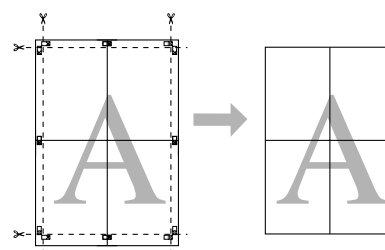
モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

4 **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

5 **下段の２枚の用紙も、1 ～ 4 に従って貼り合わせます。**

6 **上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

7 **切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

8 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷での貼り合わせガイドは黒線になります。

9 **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

10 **すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。**

以上で終了です。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタドライバに用意されていない用紙サイズを自分で設定して印刷できます。

定形紙（A4など）

不定形紙

設定できる用紙サイズは下表の通りです。

	PX-7550S/PX-7500N/PX-7550	PX-9550S/PX-9500N/PX-9550
用紙幅	203mm ～ 610mm	203mm ～ 1118mm
用紙長さ *	Windows 2000/XP：最大 15000mm Mac OS X：最大 15240mm	Windows 2000/XP：最大 15000mm Mac OS X：最大 15240mm

* 長尺印刷対応のアプリケーションでは、用紙長さの最大は 202000mm です。

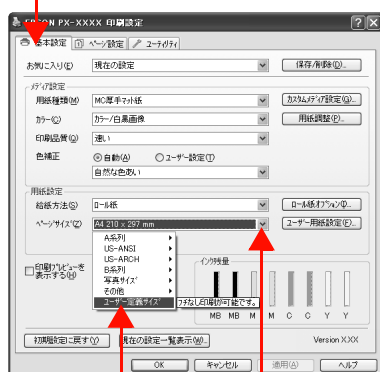
！重要

- Mac OS X では、v10.2.8 以降でこの機能が使用できます。
- 定形サイズ以外の用紙サイズを設定するとき、A4 未満の用紙サイズを設定できますが、プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。また、幅が 182mm 以下の用紙は使用できません。
- Mac OS X では、プリンタにセットできる最大サイズよりも大きな用紙サイズを［カスタム用紙サイズ］として設定できますが、正常に印刷できません。
- 印刷に使用するアプリケーションソフトによって、出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **［基本設定］タブをクリックして、［ページ（用紙）サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

！重要

［給紙方法］で［単票紙］を選択して［フチなし］にチェックを付けた場合、［ユーザー定義サイズ］は選択できません。

3 **［用紙サイズ名］と［用紙幅］・［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。**

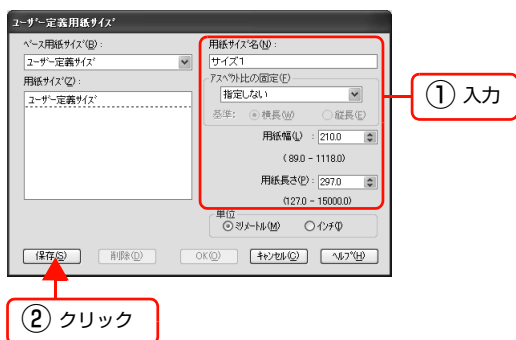
- ［用紙サイズ名］の入力可能文字数は、全角 12 文字・半角 24 文字です。
- 数値の単位は、［ミリメートル］または［インチ］のどちらかを［単位］で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は以下の通りです。

PX-7550S/PX-7500N/PX-7550

Windows 2000/XP	用紙幅	89mm* ～ 610mm
	用紙長さ	127mm ～ 15000mm

PX-9550S/PX-9500N/PX-9550

Windows 2000/XP	用紙幅	89mm* ～ 1118mm
	用紙長さ	127mm ～ 15000mm

* プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。また、幅 182mm 以下の用紙は使用できません。

参考

- 登録済みの内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録済みの用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 登録できる用紙サイズは 100 個です。

4 ［OK］をクリックします。

これで用紙サイズのリストボックスに、設定した用紙サイズが登録されました。

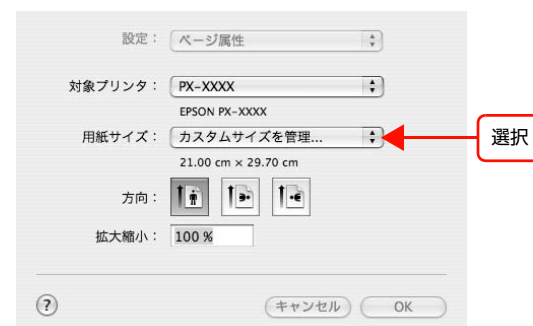
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

Mac OS X v10.2.8 以降での設定

1 プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 ［対象プリンタ］を選択します。

3 ［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理］を選択します。

4 ［+］をクリックし、用紙サイズ名を入力します。

5 ［ページサイズ］の［幅］と［高さ］、［プリンタの余白］を入力してから、［OK］をクリックします。

指定できる用紙サイズの範囲は以下の通りです。

PX-7550S/PX-7500N/PX-7550

用紙幅	89mm* ～ 610mm
用紙長さ	127mm ～ 15240mm

PX-9550S/PX-9500N/PX-9550

用紙幅	89mm* ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 15240mm

* プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。また、幅 182mm 以下の用紙は使用できません。

［ページサイズ］と［プリンタの余白］は、印刷方法（［ページ設定］）に応じて以下のように設定してください。

単票紙

［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
印刷可能な用紙サイズ	上左右：各 3mm 下：14.2mm

ロール紙

［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
印刷可能な用紙サイズ	上下左右：各 3mm

ロール紙（長尺）

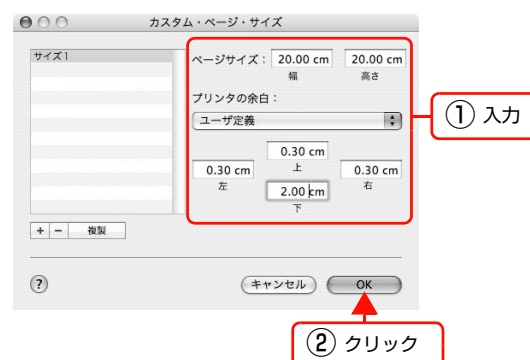
［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
印刷可能な用紙サイズ	上下：0mm 左右：各 3mm

ロール紙（フチなし、自動拡大）

［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
フチなし印刷対応の用紙幅 ☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」	上下左右：0mm

ロール紙（フチなし、原寸維持）*
ロール紙（フチなし、長尺）*

［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
フチなし印刷対応の用紙幅 +6mm ☞ 本書 46 ページ「フチなし印刷対応用紙」	上下左右：0mm

* ［ページサイズ］と［プリンタの余白］を設定後、［印刷設定］画面の［ページ設定］で、どちらか 1 つを選択してください。

参考

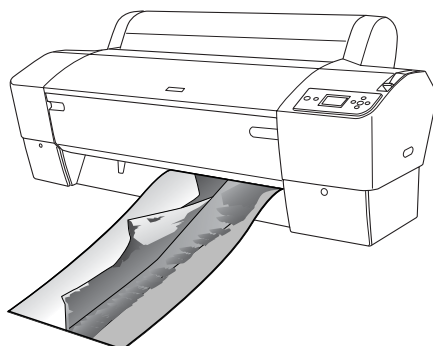
- ［ページサイズ］と［プリンタの余白］を設定すると、印刷方法が決定されます。決定された印刷方法は、［印刷設定］画面の［ページ設定］の欄に表示され、確認できます。

- ［高さ］には 1524cm よりも大きい長さを入力できますが、実際には 1524cm までしか印刷できません（1524cm 以上のカスタム用紙サイズを設定して印刷した場合には、デフォルトの用紙サイズが適用され、はみ出したデータは印刷されません）。
- 高さは1524cmまで設定できますが、使用するアプリケーションによっては、1524cm 以下でも正しく印刷できないことがあります。
- 以前に登録した内容を変更したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、［カスタム・ページ・サイズ］画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［－］をクリックします。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

6 **［OK］をクリックします。**

これで用紙サイズのポップアップメニューに、設定した用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

長尺印刷（ロール紙へのバナー印刷）

ロール紙を使って、横断幕や垂れ幕、パノラマ写真などを印刷できます。

長尺印刷には、以下の 2 種類があります。

プリンタドライバの［給紙方法］	使用可能なアプリケーションソフト
［ロール紙］	一般的な文書作成ソフト、画像編集ソフトなど
［ロール紙 長尺モード］	長尺印刷対応ソフト

印刷可能な用紙サイズは、以下の通りです。

	PX-7550S/PX-7500N/PX-7550	PX-9550S/PX-9500N/PX-9550
用紙幅	203mm ～ 610mm	203mm ～ 1118mm
用紙長さ *	Windows 2000/XP： 最大 15000mm Mac OS X： 最大 15240mm	Windows 2000/XP： 最大 15000mm Mac OS X： 最大 15240mm

* 長尺印刷対応のアプリケーションソフトでは、用紙長さの最大は 202000mm です。
本製品の仕様では、202000mm まで印刷できますが、印刷するアプリケーションソフトやコンピュータの環境により、実際に印刷できる長さは制限されます。

アプリケーションソフトの設定

アプリケーションソフト側で、長尺印刷向けに印刷データの作成と設定をします。

アプリケーションソフト側では、印刷したい用紙サイズの等倍、または任意の倍率で縮小した「ユーザー定義サイズ」で原稿を作成し、プリンタドライバの［拡大 / 縮小］－［フィットページ］機能（Windows のみ）を使用して印刷します。

Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint での設定と印刷方法は、以下をご覧ください。

本書 79 ページ「アプリケーションソフトごとの設定例」

プリンタドライバの設定

Windows での設定(長尺印刷の場合)

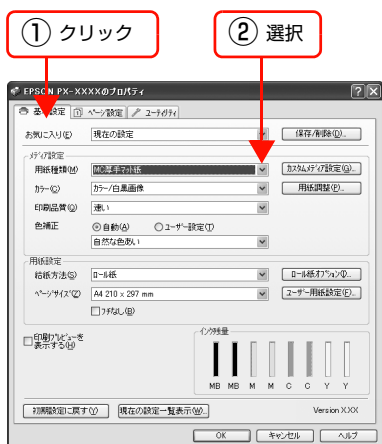
長尺印刷に対応したアプリケーションソフトを使用している場合の設定方法です。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **[基本設定]タブをクリックし、[用紙種類]を選択します。**

プリンタにセットした用紙の種類に合わせて[用紙種類]を選択します。

参考

[印刷プレビューを表示する]をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認することができます。

3 **[給紙方法]で[ロール紙 長尺モード]を選択し、[ロール紙オプション]をクリックします。**

4 **[オートカット]で[カットあり]または[カットなし]を選択し、[OK]をクリックします。**

5 **[ページサイズ]で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。**

6 **[印刷]をクリックして、印刷を実行します。**

Windows での設定(フィットページ印刷の場合)

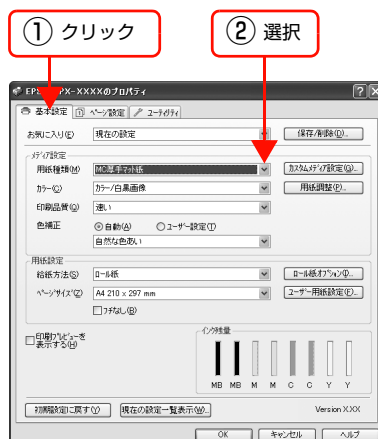
長尺印刷に対応していないアプリケーションソフトを使用している場合の設定方法です。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

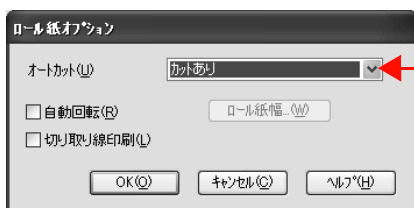
☞ 本書 7 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **[基本設定]タブをクリックし、[用紙種類]を選択します。**

プリンタにセットした用紙の種類に合わせて[用紙種類]を選択します。

参考

［印刷プレビューを表示する］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認することができます。

3 ［給紙方法］で［ロール紙］を選択し、［ロール紙オプション］をクリックします。

4 ［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択し、［OK］をクリックします。

5 ［ページサイズ］で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

［ユーザー定義サイズ］で自由に用紙サイズを設定することができます。

PX-7550S/PX-7500N/PX-7550

用紙幅	89mm ～ 610mm
用紙長さ	127mm ～ 15000mm

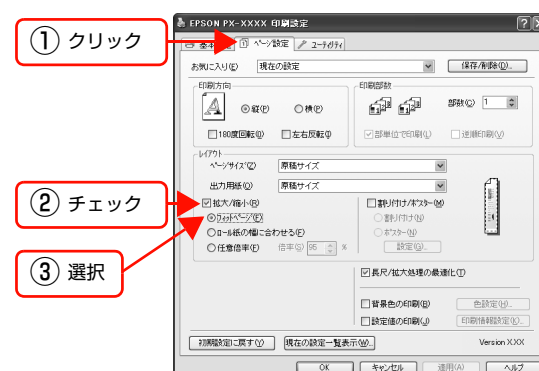
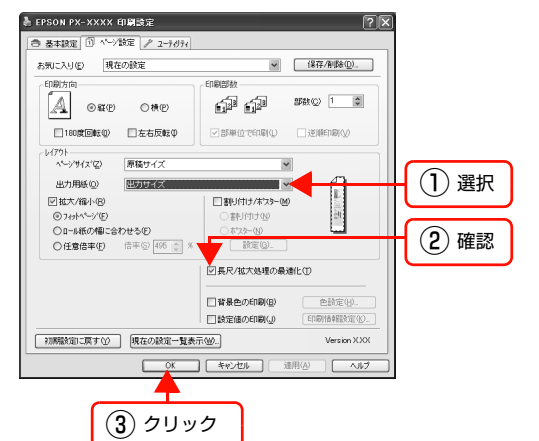
PX-9550S/PX-9500N/PX-9550

用紙幅	89mm ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 15000mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 75 ページをご覧ください。

［ユーザー定義サイズ］の作成方法は、以下をご覧ください。

☞ 本書 79 ページ「アプリケーションソフトごとの設定例」

6 ［ページ設定］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

7 ［出力用紙］に印刷したい用紙のサイズを設定し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

8 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

以上で終了です。

Mac OS X v10.4 以降での設定

以下は、Mac OS X v10.4 以降についての説明です。それ以前のバージョンでバナー印刷をするときは、任意倍率設定印刷を使用してください。

☞ 本書 72 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

2 **［対象プリンタ］で本製品を選択し、［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理］を選択して、以下の 2 つのカスタム用紙サイズを作成します。**

- **印刷サイズ（実寸）**

PX-7550S/PX-7500N/PX-7550

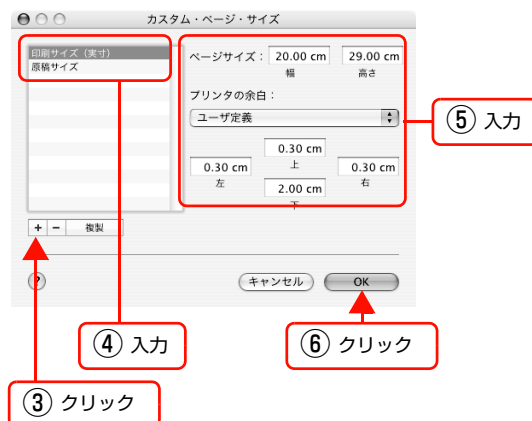
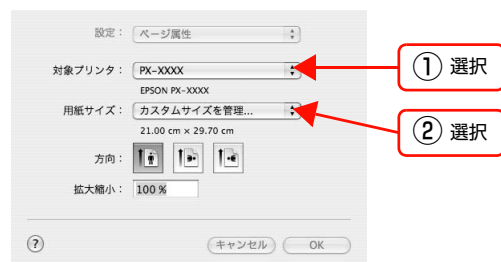
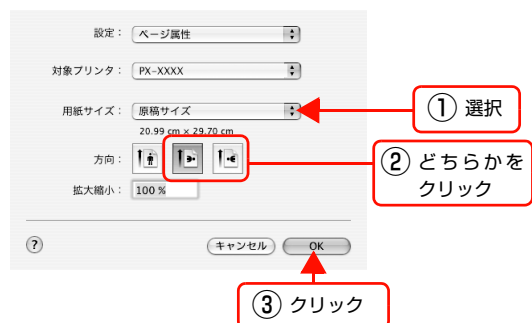
幅	89mm ～ 610mm
高さ	127mm ～ 15240mm

PX-9550S/PX-9500N/PX-9550

幅	89mm ～ 1118mm
高さ	127mm ～ 15240mm

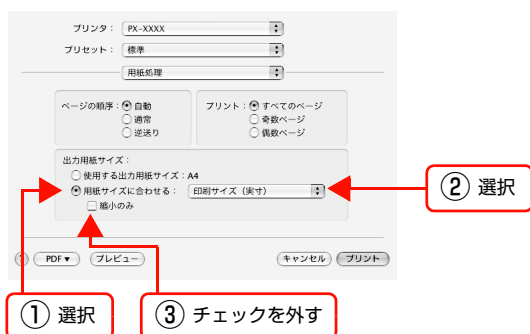
- **原稿サイズ**

幅	印刷サイズ（実寸）の 5 分の 1*
高さ	

* 縦横比は固定してください。

3 **［用紙サイズ］で、手順 2 で作成した［原稿サイズ］を選択します。［方向］でランドスケープ（横）の方向を選択し、[OK] をクリックします。**

4 **アプリケーションソフトで原稿を作成します。**

5 **［印刷］画面を表示し、［用紙処理］画面を表示します。**

☞ 本書 23 ページ「プリンタドライバの設定画面の表示」

6 ［出力用紙サイズ］で［用紙サイズに合わせる］を選択したあと、手順 2 で作成した［印刷サイズ（実寸）］を選択し、［縮小のみ］のチェックを外します。

7 その他の設定を確認し、［プリント］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

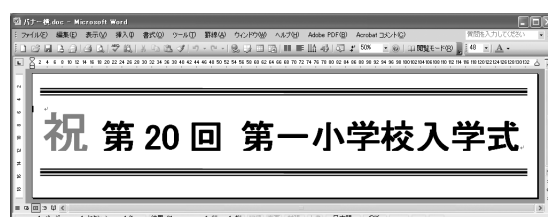
以上で終了です。

アプリケーションソフトごとの設定例

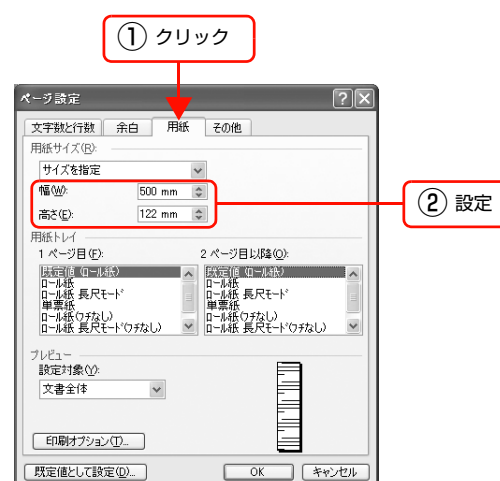
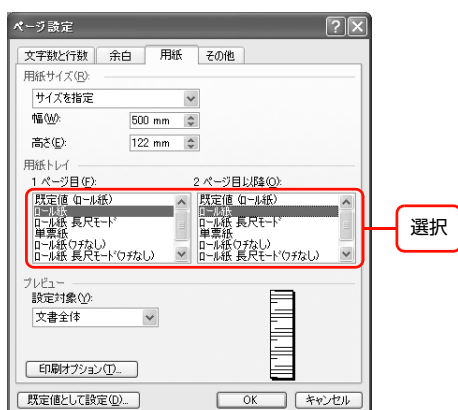
ここでは、Windows 版の Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint を例に、それぞれのアプリケーションソフトで長尺印刷する場合の設定と印刷方法を説明します。

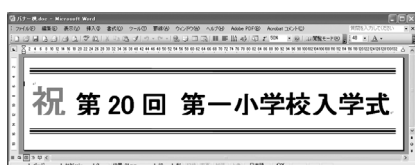
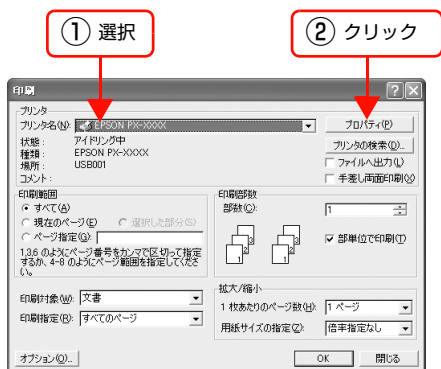
Microsoft Word での設定

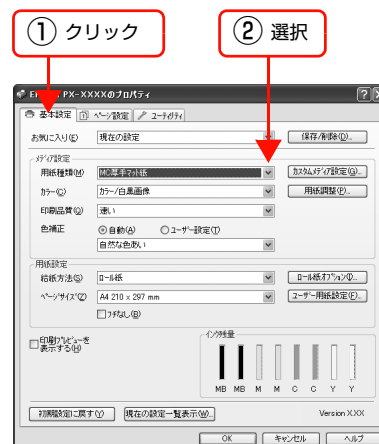
A1 ノビ（610mm）幅のロール紙で、長さ 2.5m（2500mm）の横断幕を作成します。

Microsoft Word では、実寸の 5 分の 1 に縮小した原稿を作成します。

1 Microsoft Word を起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［用紙］タブをクリックして、［幅］と［高さ］を以下のように設定します。

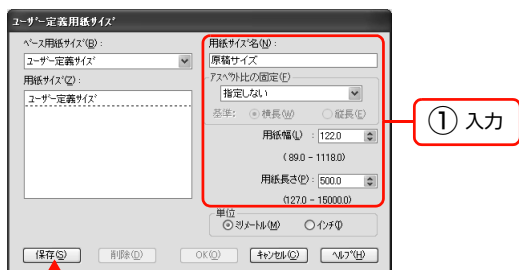
項目	設定値
［幅］	2.5m（2500mm）の 5 分の 1 ＝ 500mm
［高さ］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 ＝ 122mm

3 同じ画面の［用紙トレイ］で、［1 ページ目］と［2 ページ目以降］とも［ロール紙］を選択します。

4 必要に応じて、その他の項目を設定し、［OK］をクリックします。

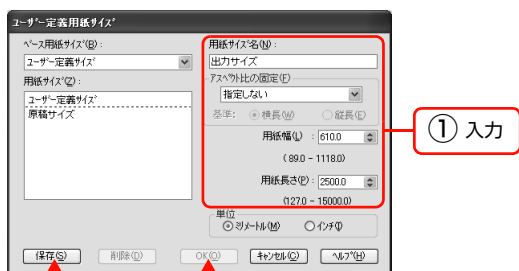
5 Microsoft Word で原稿を作成します。

6 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

7 ［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。

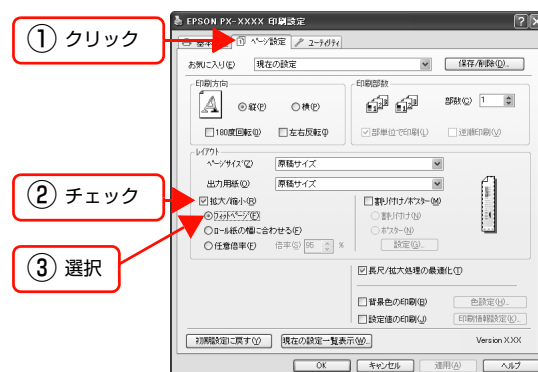
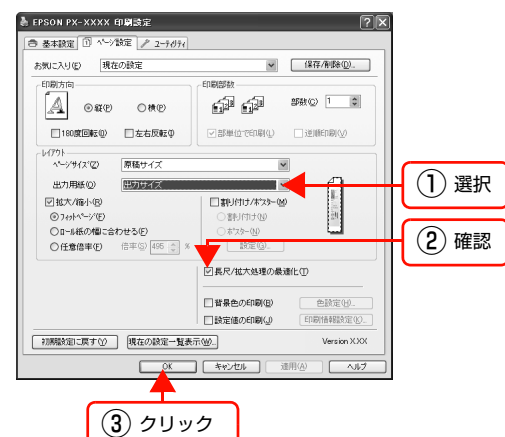
プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

［印刷プレビューを表示する］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

8 ［給紙方法］で［ロール紙］を選択し、［ロール紙オプション］をクリックします。［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択し、［OK］をクリックします。

9 ［ページサイズ］に、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを設定します。

［ユーザー定義サイズ］を選択し、［ユーザー用紙設定］をクリックします。［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックします。

10 9 と同様に、印刷する用紙のサイズを設定します。

［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックしてから［OK］をクリックします。

11 ［ページサイズ］から、9 で設定した原稿のサイズを選択します。

12 ［ページ設定］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

13 ［出力用紙］から、10 で設定した印刷する用紙のサイズを選択し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

14 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

以上で終了です。

Microsoft Excel での設定

A1 ノビ（610mm）幅のロール紙で、長さ 5m（5000mm）の横断幕を作成します。

Microsoft Excel では、実寸の 5 分の 1 に縮小した原稿を作成します。

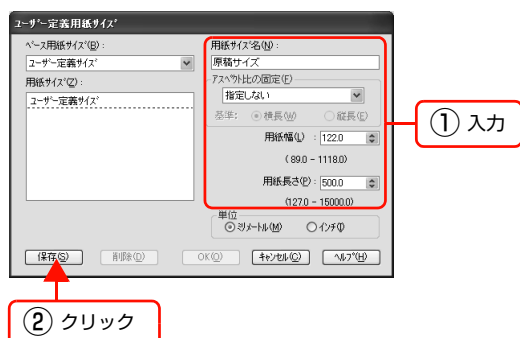
1 Microsoft Excel を起動します。

2 作成する原稿のサイズと、印刷する用紙のサイズを設定します。

［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

3 ［基本設定］タブをクリックし、［ページサイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。［ユーザー用紙設定］をクリックし、アプリケーションソフトで作成する原稿のサイズを以下のように設定します。

項目	設定値
［幅］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 = 122mm
［高さ］	5m（5000mm）の 5 分の 1 = 1000mm

［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックします。

4 3 と同様に、印刷する用紙のサイズを設定します。

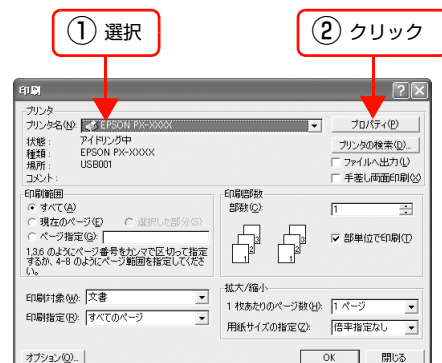
［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックしてから［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、プリンタウィンドウの画面を閉じます。

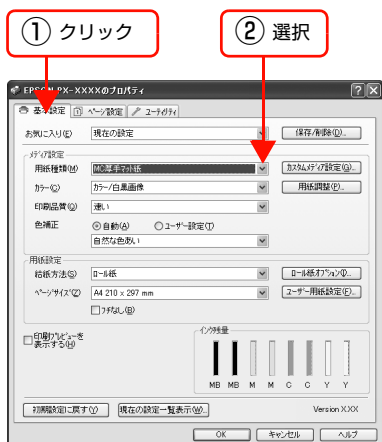
6 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［ページ］タブをクリックし、［用紙サイズ］から、3 で設定した［原稿サイズ］を選択します。必要に応じてその他の項目も設定します。

7 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

8 Microsoft Excel で原稿を作成します。

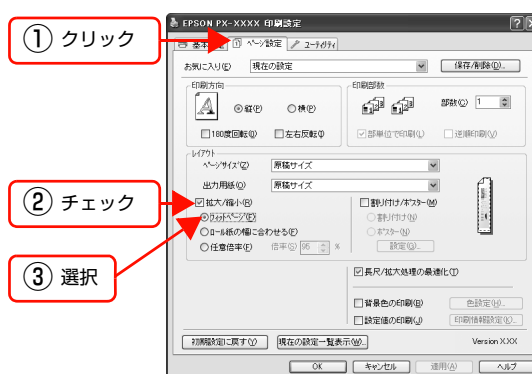
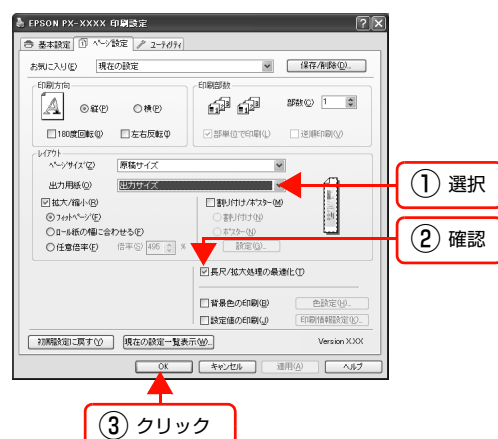
9 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

10 **［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。**

プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

参考

［印刷プレビューを表示する］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

11 **［給紙方法］で［ロール紙］を選択し、［ロール紙オプション］をクリックします。［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択し、［OK］をクリックします。**

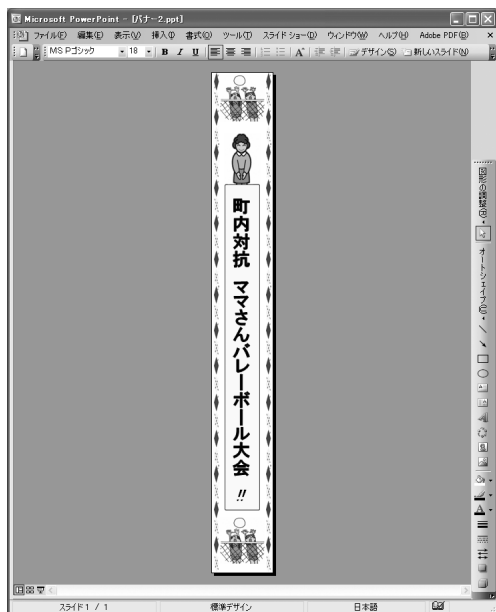
12 **［ページサイズ］から、3 で設定した原稿のサイズを選択します。**

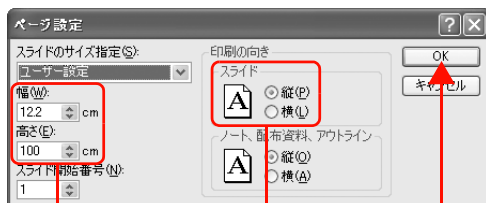
13 **［ページ設定］タブをクリックし、［拡大／縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。**

14 **［出力用紙］から、4 で設定した印刷する用紙のサイズを選択し、［長尺／拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。**

15 **［印刷］をクリックして、印刷を実行します。**

以上で終了です。

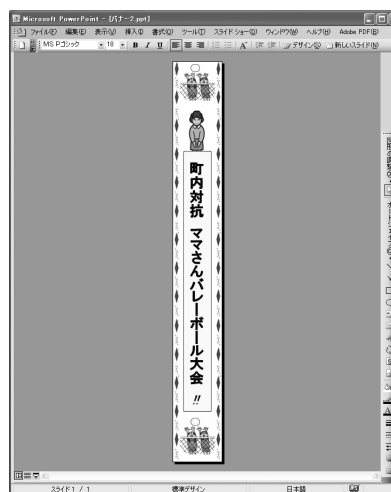
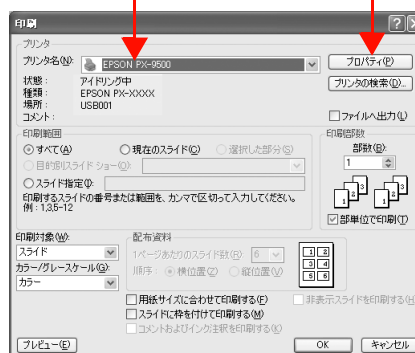
Microsoft PowerPoint での設定

A1 ノビ（610mm）幅のロール紙で、長さ 5m（5000mm）の垂れ幕を作成します。

PowerPoint では、実寸の 5 分の 1 に縮小した原稿を作成します。

1 Microsoft PowerPoint を起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［幅］と［高さ］を以下のように設定します。

項目	設定値
［幅］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 ＝ 122mm
［高さ］	5m（5000mm）の 5 分の 1 ＝ 1000mm

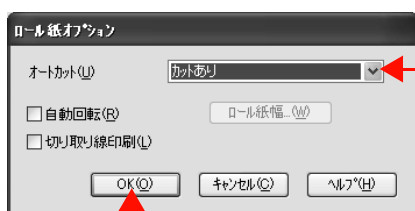
3 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

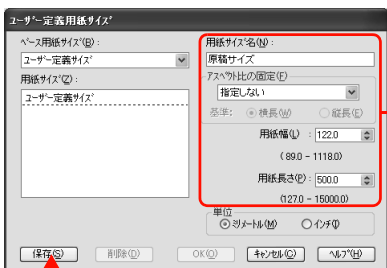
4 Microsoft PowerPoint で原稿を作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、プリンタ名を選択して、［プロパティ］をクリックします。

6 ［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。

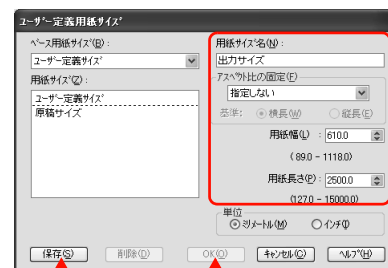
プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

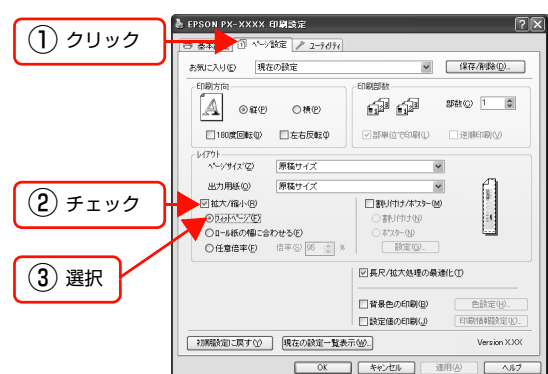
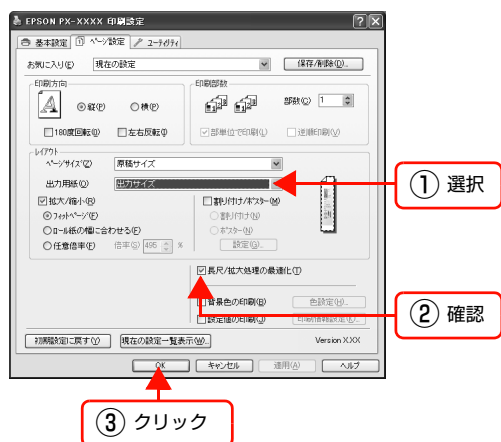
参考

［印刷プレビューを表示する］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

7 ［給紙方法］を［ロール紙］に設定し、［ロール紙オプション］をクリックします。［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択し、［OK］をクリックします。

8 ［ページサイズ］に、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを設定します。

［ユーザー定義サイズ］を選択し、［ユーザー用紙設定］をクリックします。［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックします。

9 8 と同様にして、印刷する用紙のサイズを設定します。

［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックしてから［OK］をクリックします。

10 ［ページサイズ］から、8 で設定した原稿のサイズを選択します。

11 ［ページ設定］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

12 ［出力用紙］から、9 で設定した印刷する用紙のサイズを選択し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

13 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

以上で終了です。

エプソン製以外の用紙への印刷

エプソン製以外の用紙を使う場合は、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。設定と印刷を行うには 2 つの方法があります。

- プリンタの設定メニューでユーザー用紙を登録し、登録した設定を使用して印刷する。
- プリンタドライバの［用紙調整］画面を開いてユーザー用紙の設定を行う（［ユーザー設定］（Windows）/［詳細設定］（Mac OS）画面の設定の一部として保存することもできます）。

- 用紙の切り取りやすさ、張りの度合い、インクの定着性、厚みなど、用紙の特性をあらかじめ確認してからユーザー用紙の設定を行ってください。用紙の特性は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- プリンタ本体（操作パネル）の設定メニューと［用紙調整］画面で重複する設定は、プリンタ本体（操作パネル）での設定が優先されます。
- MAXART リモートパネルを使用すると、コンピュータ上でユーザー用紙の登録や、印刷時のプリンタの設定ができます。詳しくは、以下をご覧ください。
  Windows： 本書 17 ページ「MAXART リモートパネル」
  Mac OS X： 本書 29 ページ「MAXART リモートパネル」

ユーザー用紙として登録した用紙に印刷をしたときに印刷のムラが発生したら、単方向で印刷してください。プリンタドライバの［双方向印刷］のチェックを外すと、単方向印刷を行います。

プリンタでのユーザー用紙設定

プリンタの設定メニューでは、ユーザー用紙を 10 種類まで登録できます。以下の手順に従ってください。また、MAXART リモートパネルを使うと、ユーザー用紙の登録や用紙調整がコンピュータ上で行えます。

ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。

どの階層で【ポーズ】ボタン（⏸）を押しても、設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。ただし、その時点での設定（未変更分を含む）がユーザー設定となります。

1 使用する用紙をプリンタにセットし、【用紙選択】ボタン（◁）で用紙を選択します。

実際に印刷を行う用紙を必ずセットしてください。

重要

ロール紙の種類によっては自動カットできないものやカッターに損傷を与えるものがありますので、［ロール紙カッターオフ］を選択してください。詳細は、各用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。また、エプソン製の専用紙に関しては、用紙ガイド（別冊）をご覧ください。

2 【Menu】ボタン（▷）を押して設定モードに入り、［ユーザー用紙設定］を選択します。

① 【用紙送り】ボタン（▽/△）を数回押して、［ユーザー用紙設定］を選択します。
② 【Menu】ボタン（▷）を押します。
③ ［用紙番号選択（1-10）］を選択し、【Menu】ボタン（▷）を押します。

3 ユーザー用紙の設定を登録する番号を選択します。

ユーザー用紙の設定は 10 種類まで登録できますので、任意の番号（1 ～ 10）を選択してください。エプソン製の専用紙に合わせて初期状態では［標準］に設定されています。

① 【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、任意の番号（1 ～ 10）を選択します。
② 【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
③ 【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

これ以降の手順で設定する設定値は、ここで有効となった登録番号で記憶されます。

参考

- エプソン製の専用紙を使う場合は、［標準］に戻してから【ポーズ】ボタン（⏸）を押して設定モードから抜けます。
- 登録番号とこれ以降で設定する設定値は、メモを取るなどして記録に残すことをお勧めします。
- すでに登録してあるユーザー用紙の設定を実際に使用する場合は、印刷を始める前にここで登録番号を選択してから【ポーズ】ボタン（⏸）を押して設定モードから抜けます。
- MAXART リモートパネルを使用すると、コンピュータ上で登録番号を変更できます。

4 必要に応じて、プリントヘッドと用紙の間隔の広さ（プラテンギャップ）を設定します。

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［プラテンギャップ］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、プラテンギャップを選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

プラテンギャップとは、プリントヘッドと用紙の距離のことです。プラテンギャップを正しく調整すると、印刷品質が向上します。また、厚い用紙に印刷する場合にプラテンギャップが狭すぎると、プリントヘッドと用紙が接触して、プリントヘッドや用紙を傷付けることがあります。

用紙の厚さ	［プラテンギャップ］の設定
厚い用紙	［最大］
	［より広くする］
	［広くする］
標準的な厚さの用紙	［標準］
薄い用紙	［狭くする］

5 用紙厚を検出するためのパターン印刷を行います。

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［用紙厚検出パターン］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③「印刷」と表示されますので、【実行】ボタン（↵）を押します。
パターンの印刷中は「印刷中」とディスプレイに表示されます。メッセージが消えたら、次へ進みます。

＜印刷例＞

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

6 印刷されたパターンを見て、最も線のズレが少ない番号（1 ～ 15）を選択します。

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、用紙厚番号を選択します。
上記の印刷例では「4」を選択します。
②【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
③【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

7 必要に応じて用紙カット時のカット方法を選択します。

用紙の厚さに応じて、以下のように選択します。

用紙厚	設定
薄く腰がない	［薄紙］
↑	［標準］
↓	［厚紙＆カット高速］
厚く腰が強い	［厚紙＆カット低速］

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［カット方法］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［カット方法］を選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

8 必要に応じて用紙送り補正値を設定します。

補正値は、用紙送り 1m に対する割合（-0.7 ～ 0.7%）で設定します。
①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［用紙送り補正］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、補正値を選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

MAXART リモートパネルを使用して、サンプル印刷をしながら補正値を設定するとより品質の高い結果が得られます。

9 必要に応じて乾燥時間を設定します。

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間 0.0 ～ 10.0 秒）を設定します。
プリンタは、プリントヘッドが左右に移動しながら印刷します。用紙に付着したインクが乾かないうちに、プリントヘッドが用紙上を移動して続きの印刷を行うと、印刷結果にインク垂れやにじみが起こる場合があります。このような問題は、乾燥時間を長めに調整することで解決する場合があります。
①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［乾燥時間］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、乾燥時間を選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

> 参考
> インクの乾燥中に【用紙選択】ボタン（◁）を 3 秒以上押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。
> ☞ 使い方ガイド（冊子）「ボタン」

10 必要に応じて吸着力を設定します。

プリンタは、用紙とプリントヘッドの距離を適正に保つために、用紙に合った圧力で用紙を吸引しながら印刷を行います。ここでは、用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を選択します。ここでの設定は、ユーザー用紙の設定すべてに適用されます。

薄い用紙を使用するとき、吸引力が強すぎるとプリントヘッドと用紙の距離が広くなりすぎるために印刷結果が低下したり、正しく用紙送りができない場合があります。そのような場合に用紙の吸引力を弱めに調整します。

通常は［標準］のまま使用してください。

薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ［-1］～［-4］のいずれかを選択します。［標準］が最も吸着力が強く、［-1］、［-2］、［-3］、［-4］の順に吸着力が弱くなります。

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［吸着力］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、設定値を選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

11 必要に応じて印字調整を設定します。

マイクロウィーブモードの調整をします。マイクロウィーブとは、1 行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能です。

［標準］が最も低い設定値で、［1］、［2］の順に高くなります。

印字速度を優先する場合は、設定値を下げます。

印刷品質を優先する場合は、設定値を上げます。

①【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、［M/W 印字調整］を選択します。
②【Menu】ボタン（▷）を押します。
③【用紙送り】ボタン（▽/△）を押して、設定値を選択します。
④【実行】ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤【用紙選択】ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

12 操作をすべて終了したら、【ポーズ】ボタン（⏸）を押して設定モードから抜けます。

以上でセットした用紙固有の情報が登録されました。セットした用紙に印刷する場合は、続いて印刷を実行してください。

ユーザー用紙の設定は 10 種類登録できます。ほかの設定を登録するには 1 からの手順を繰り返してください。

登録した複数のユーザー用紙の設定を使い分けるには、印刷を実行する前に、設定モードの［ユーザー用紙設定］メニューに入り 3 の［用紙番号選択（1-10）］で登録番号（1 ～ 10）を選択してください。

4 付録

お問い合わせいただく前に

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバをバージョンアップすることによって、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いいただくことをお勧めします。

最新プリンタドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、以下の方法で入手してください。

- エプソンのホームページからダウンロードしてください。

アドレス	http://www.epson.jp

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承ります。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）巻末

参考

各種ドライバの最新バージョンは、エプソンのホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細は、使い方ガイド（冊子）巻末にてご案内しています。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報をご提供しています。

また、MAXART リモートパネルを使うと、簡単にファームウェアのアップデートができます。詳細は MAXART リモートパネルのヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、プリンタの動作を確認した上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「各種サービス･サポートの一覧」

プリンタの動作確認

プリンタの故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断するため、ノズルチェックパターンを印刷することによってプリンタの動作確認をします。

1. **電源を切り、プリンタケーブルを外します。**
2. **電源を入れます。**
3. **プリンタに単票紙をセットし、【用紙選択】ボタン（ ◁ ）で用紙を選択します。**
4. **【Menu】ボタン（ ▷ ）を押します。**
5. **【用紙送り】ボタン（ ▽ / △ ）を押して［テスト印刷］を表示させます。**
6. **【Menu】ボタン（ ▷ ）を押して、設定項目の階層に入ります。**
   ディスプレイに［ノズルチェック］と表示されます。
7. **再度【Menu】ボタン（ ▷ ）を押して、設定値の階層に入ります。**
   ディスプレイに［印刷］と表示されます。
8. **【実行】ボタン（ ↵ ）を押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。

正常に印刷できないときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「サービス・サポートのご案内」

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

C

■ColorSync（カラーシンク）
Mac OS 用のカラーマネジメントシステム。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を活用するためには、使用する機器とソフトウェアのすべてが、ColorSync に対応している必要がある。

D

■dpi
解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印刷できるドット数を示す。

I

■ICC プロファイル
カラーマネジメントを行うために、色情報を定義したファイル。

■ICM
Windows 用のカラーマネジメントシステム。

イ

■印刷領域
印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

■インチ
長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

カ

■解像度
画質の細かさを表す指標で、一般に dpi（dot per inch; 1 インチあたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

■カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

■カラーマネジメントシステム（CMS）
入力装置や出力装置の特性の違いによる印刷結果の色のズレを補正する方法。

■ガンマ
画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位。

ガンマ値を変更することで、画像の暗い部分や明るい部分に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できる。

キ

■キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

■ギャップ調整
印刷時のギャップ（ずれ）を調整する機能。双方向印刷で、プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と、左から右へ移動するときの印刷位置がずれ、縦罫線がずれて印刷される場合などに、この機能を実行することにより補正する。

■キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

■給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

■クリーニング（ヘッドクリーニング）
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

サ

■サービスコール
エラーが発生したことを示すメッセージ。

ディスプレイに「サービスコール nnnnnnnn」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止する。

シ

■充てん
プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

ス

■スピンドル
ロール紙をセットする棒。

セ

■セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

ノ

■ノズル
インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

■ノズルチェックパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

■排紙
用紙をプリンタから排出すること。

■バナー
長尺の用紙。（垂れ幕など）

フ

■プラテンギャップ
プリントヘッドと用紙の間隔。

■プリンタドライバ
アプリケーションソフトの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

■プリントヘッド
用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

マ

■マージン
余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域をいう。

■マイクロウィーブ機能
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

■メンテナンスコール
交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告のメッセージ。

■メンテナンスタンク
廃インクを溜めるタンク。

索引

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

よ

わ